

# 歯科医学総合講義 6 : 640-6-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
6年次	後学期	*有川 量崇 (衛生学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>・単位数：12単位</p> <p>・学修目標 (GIO)：より良き歯科医師、歯学研究者となるために、基礎歯科医学および歯科臨床的諸問題に対応できる知識・態度を修得する。</p>		
担当教員	<p>*有川 量崇、*内田 貴之、*大峰 浩隆、*金田 隆、*河相 安彦、近藤 信太郎、三枝 禎、谷本 安浩、*根岸 慎一、*野本 たかと、平塚 浩一、*平山 聡司、*福本 雅彦、*牧山 康秀、*山口 秀紀、吉垣 純子、*飯田 崇、五十嵐 由里子、*伊藤 誠康、*内山 敏一、*宇都宮 忠彦、*多田 充裕、後藤田 宏也、*清水 邦彦、*高井 英樹、竹内 麗理、*中山 洋平、*西村 均、*深津 晶、松本 裕子、*村上 洋、*青木 伸一郎、*伊東 浩太郎、*伊藤 龍朗、*石橋 肇、*梅澤 幸司、*内堀 聡史、*榎本 豊、*大久保 昌和、*岡部 達、*岡本 康裕、*神尾 直人、*北川 剛至、*栗原 紀子、*五関 たけみ、*小峯 千明、*齋藤 真規、佐々木 佳世子、*下坂 典立、*末光 正昌、*鈴木 正敏、*玉木 大之、玉村 亮、*中田 浩史、*林 佐智代、*平原 尚久、*洲上 真奈、松野 昌隆、*村岡 宏隆、*山本 泰、青野 悠里、*飯塚 普子、*五十嵐 憲太郎、*石井 かおり、岩崎 太郎、*岩田 好弘、*小出 恭代、*鈴木 亜沙子、田口 千恵子、*竹森 真実、永田 俊介、*濱野 美緒、*山口 桜子、*渡邊 昂洋、*飯島 守雄、*福井 謙二、*吉田 陽子、*岡本 京</p>		
講義実施要項	<p>1. 講義：400教室</p> <p>2. 試験：400教室</p> <p>3. 講義は令和5年版歯科医師国家試験出題基準に順じて以下の8つのユニットに分割する。          ユニット1 (必修・総論)：必修の基本的事項1～12及び歯科医学総論 (総論I～VIII)          ユニット2 (各論)：成長・発育に関連した疾患・病態 (各論I)，歯・歯髄・歯周組織の疾患 (各論II)，配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療 (各論V)          ユニット3 (各論)：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (各論IV)，配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療 (各論V)          ユニット4 (各論)：顎・口腔領域の疾患 (各論III)，配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療 (各論V)          ユニット5 (必修・総論)：必修の基本的事項1～12及び歯科医学総論 (総論I～VIII)の基礎系          ユニット6 (臨床実地)：成長・発育に関連した疾患・病態 (各論I)，歯・歯髄・歯周組織の疾患 (各論II)，配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療 (各論V)          ユニット7 (臨床実地)：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (各論IV)，配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療 (各論V)          ユニット8 (臨床実地)：顎・口腔領域の疾患 (各論III)，配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療 (各論V)</p> <p>4. ユニット終了後に実施する平常試験について。          ・講義ユニット終了毎 (ユニット1では3回) に計11回実施する。          ・試験問題は、新規問題又は過去の総合試験・歯科医師国家試験の改変問題とする。授業の内容のみでないことに注意すること。なお、平常試験の追・再試験は行わない。          ・各ユニットの平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表を参照すること。</p>		
評価方法 (EV)	<p>5. 定期試験1および定期試験2の実施について          ・全ユニット終了後、歯科医師国家試験合格に必要な学力を適正に評価するために、定期試験1 (200問) 及び定期試験2 (400問) に分けて定期試験 (全600問) を実施する。問題は歯科医師国家試験に準じたオリジナル問題を中心とし、領域別出題割合は、歯科医師国家試験出題基準のブループリントに準ずる (巻末の令和5年版歯科医師国家試験出題基準参照)。          ・試験日程や出題問題数は日程表で確認すること。</p> <p>1) 定期試験 (定期試験1・定期試験2) の合格基準は、以下の通りである。          ・定期試験1と定期試験2を合算 (全600問) して判定する。          ・各領域の正答率が必修85%以上、領域A、領域Bがそれぞれ70%以上を各領域の合格基準とし、すべての領域が合格基準を満たす者。</p> <p>2) 定期試験 (定期試験1・定期試験2) を病気など正当な理由で欠席した者または合格基準に達しなかった者のうち正式な手続きの後、それぞれ追試験、再試験を行う。その合格基準は以下の通りである。          ・各領域の正答率が必修85%以上、領域A、領域Bがそれぞれ70%以上を各領域の合格基準とし、すべての領域が合格基準を満たす者。          ・再試験該当者については、定期試験及び平常試験結果を合格判定に考慮することができる。</p>		

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/01 (金) 1時限 09:00～09:50	総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨と頭蓋の筋を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋底の構造が説明できる。 2. 上顎骨の構造が説明できる。</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/01 (金) 1時限 09:00～09:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(解剖学)	<p>3. 下顎骨の構造が説明できる。 4. 顔面筋(表情筋)が説明できる。 5. 咀嚼筋が説明できる。 6. 舌骨上筋が説明できる。 7. 咀嚼と嚥下に関与する筋のはたらきが説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭蓋骨と頭蓋の筋の構造を教科書を通読して復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：頭蓋骨と頭蓋の筋の構造を配布プリントを見て復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨(関節、靭帯を含む)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋</p>	近藤 信太郎
2022/07/01 (金) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(解剖学)	<p>【授業の一般目標】 脳神経の分布とはたらきが説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頸部の三角と筋間隙が説明できる。 2. 三叉神経の分布とはたらきが説明できる。 3. 顔面神経の分布とはたらきが説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頸部の三角と筋間隙を復習する。三叉神経と顔面神経の復習をする。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：三叉神経と顔面神経の走行をする。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p>	近藤 信太郎
2022/07/01 (金) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(解剖学)	<p>【授業の一般目標】 頭頸部の内臓の構造を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔の構造を説明できる。 2. 舌の構造を説明できる。 3. 唾液腺の構造を説明できる。 4. 咽頭の構造を説明できる。 5. 鼻腔の構造を説明できる。 6. 喉頭の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造を配布資料・解剖の本で確認する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造を再確認する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/01 (金) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢（解剖学）	<p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化            4 頭頸部の構造            オ 頭頸部の内臓系            a 口腔</p>	五十嵐 由里子
2022/07/01 (金) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢（解剖学）	<p>【授業の一般目標】            頭頸部の内臓の構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 頭頸部の循環器の構成を説明できる。            2. 歯の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            事前学修項目：該当する内容を解剖の本で確認する。            事前学修時間：30分            事後学修項目：歯と頭頸部の脈管の構造と機能を再確認する。            事後学修時間：60分</p> <p>該当する内容を解剖の本で確認する。            1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            アクティブラーニング無し            プリントを配付する。</p> <p>【学修方略（LS）】            講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】            400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化            4 頭頸部の構造            エ 頭頸部の脈管系            a 動脈系</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化            5 歯と歯周組織の構造            ア 歯の形態            a 基本事項</p>	佐々木 佳世子
2022/07/02 (土) 1時限 09:00～09:50	必修2：社会と歯科医療（衛生学）、必修4：予防と健康管理・増進、総論Ⅰ：健康の保持・増進と社会保障の仕組み	<p>【授業の一般目標】            歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。            2. 健康の概念について説明できる。            3. ヘルスプロモーションについて説明できる。            4. プライマリーヘルスケアについて説明できる。            5. 地域保健法について説明できる。            6. 健康格差、健康の社会的決定要因について説明できる。            7. 障害児と障害者の保健事業を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。            事前学修時間：1時間            事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（健康の概念、ヘルスプロモーション、地域保健法など）を整理・復習する。            事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            アクティブラーニングの有無：無            学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】            講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】            400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            必修の基本的事項            2 社会と歯科医療            ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景            a 疾病・障害の概念・構造（社会的関わり）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            必修の基本的事項            2 社会と歯科医療            ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景            b リハビリテーションの理念            c ノーマライゼーションの理念            d 国際生活機能分類（ICF）            e 健康格差、健康の社会的決定要因            3 予防と健康管理・増進            ア 健康増進と疾病予防</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/02 (土) 1時限 09:00～09:50	必修2：社会と歯科医療（衛生学）、 必修4：予防と健康管理・増進、 総論I：健康の保持・増進と社会保障の仕組み	a プライマリヘルスケア b ヘルスプロモーション 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 ア 健康・疾病・障害の概念 a 健康に関わる要因 d ノーマライゼーション 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 カ 障害児・障害者の保健・福祉 b 障害児・障害者の健康保持・増進 d 自立支援と福祉の制度	*有川 量崇
2022/07/02 (土) 2時限 10:00～10:50	必修2：社会と歯科医療（衛生学）、 必修4：予防と健康管理・増進、 総論I：健康の保持・増進と社会保障の仕組み	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 健康増進法について説明できる。 3. 高齢者の医療の確保に関する法律を説明できる。 4. 食育基本法について説明できる。 5. 精神保健について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（健康増進法、高齢者医療確保法、精神保健関連など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律  【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a プライマリヘルスケア b ヘルスプロモーション d 国民健康づくり対策 e メタボリックシンドローム対策 f 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 オ 地域の保健・医療 a 公衆衛生活動、地域保健活動 f 地域保健における都道府県、市町村、保健所の役割 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 エ 成人保健、成人歯科保健 b 特定健康診査、特定保健指導 c 健康増進法に基づく保健事業	*有川 量崇
2022/07/02 (土) 3時限 11:00～11:50	必修2：社会と歯科医療（衛生学）、 総論I：国際保健、国際協力	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 世界の保健・医療の問題と方向性について理解できる。 3. 国際保健、国際協力について説明できる。 4. 持続可能な開発目標（SDGs）について説明できる。 5. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）について説明できる。 6. パンデミックについて説明できる。 7. 非感染性疾患（NCDs）について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（国際保健、世界の保健・医療）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/02 (土) 3時限 11:00～11:50	必修2：社会と歯科医療（衛生学）、 総論Ⅰ：国際保健、 国際協力	アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルテメディア、プリント配布、教科書  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 d 国際協力  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 a 持続可能な開発目標（SDGs） b 非感染性疾患（NCDs） c パンデミック d 国際協力	*有川 量崇
2022/07/04 (月) 1時限 09:00～09:50	必修6 歯の硬組織疾患 必修7 歯の症候 総論Ⅰ 齲蝕の疫学要因 総論Ⅷ 成形修復用材料	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、齲蝕の特徴、非齲蝕性硬組織疾患、歯の変色ならびに成形修復材料について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 齲蝕の特徴について説明できる。 3. 非齲蝕性硬組織疾患の種類とその特徴について説明できる。 4. ICDASについて説明できる。 5. 修復治療に用いる材料について説明できる。 6. 歯の変色について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：齲蝕、非齲蝕性硬組織疾患、歯の変色ならびに成形修復材料について学修しておく。  ・準備学修時間： 60 分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学 第7版）  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 b 歯の症候（齲蝕、歯の損耗、着色・変色、亀裂、破折）  【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント	*内山 敏一
2022/07/04 (月) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化（組織・発生学）	【授業の一般目標】 歯周組織の構造を理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 歯根膜の構造を説明できる。 2. 歯槽骨の構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯根膜と歯槽骨の構造について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：歯根膜と歯槽骨の構造について配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布  【学修方略（LS）】 講義	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/04 (月) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 (組織・発生学)	<p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p>	玉村 亮
2022/07/04 (月) 3時限 11:00～11:50	必修5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 (組織・発生学)	<p>【授業の一般目標】 人体の発生について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生殖子の形成について説明できる。 2. 排卵・受精・着床について説明できる。 3. 二層性胚盤・三層性胚盤について説明できる。 4. 胚子期、胎児期における器官形成について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人体の発生に関して ・準備学修時間：60分 ・準備学修項目：人体の発生に関して配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 ア 人体の発生 a 生殖子形成、排卵、受精、着床、二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期</p>	玉村 亮
2022/07/04 (月) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 (組織・発生学)	<p>【授業の一般目標】 口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を説明できる。 2. 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生に関して ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生に関して配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 8 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 b 顎顔面 (口蓋、顎関節を含む)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 8 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 a 鰓弓 (咽頭弓)</p>	玉村 亮
2022/07/04 (月) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 (組織・発生学)	<p>【授業の一般目標】 歯の発生を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の発生の概要を説明できる。 2. 歯胚の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の発生に関して ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：歯の発生に関して配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/04 (月) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 (組織・発生学)	<p>アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 8 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 a 歯胚の形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 8 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 b 歯の硬組織形成 c 歯周組織形成</p>	玉村 亮
2022/07/04 (月) 6時限 15:00～15:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 (組織・発生学)	<p>【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解するために、構成する細胞・組織について学修する。 舌および唾液腺の発生を理解するために、由来や機序について学修する。 甲状腺および下垂体の発生理解するために、由来や機序について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の構造について説明できる。 2. 舌の発生について説明できる。 3. 唾液腺の発生について説明できる。 4. 甲状腺および下垂体の発生について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎関節の構造および舌・唾液腺・甲状腺・下垂体の発生について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 8 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 c 舌、唾液腺</p>	玉村 亮
2022/07/05 (火) 1時限 09:00～09:50	必修9 歯の検査 必修11 診療用器械 総論Ⅷ レーザー機器	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、硬組織検査、切削器具、修復前準備について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の硬組織疾患の検査法について説明できる。 3. 修復治療に用いる切削器具について説明できる。 4. 修復前準備に用いる器具について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の硬組織の検査法、修復処置に用いる器具、器械について学修しておく。 ・準備学修時間： 60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：配布資料、スライド、教科書 (保存修復学 第7版)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査</p>	*内山 敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/05 (火) 1時限 09:00～09:50	必修9 歯の検査 必修11 診療用器械 総論VIII レーザー機器	ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査  【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 イ 基本手技 a 視診、触診、打診、聴診 キ 歯・歯周組織の診察 a 歯と歯冠修復物 9 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 a 歯の検査 1 1 治療の基礎・基本手技 ウ 器械の安全な取扱法 b 治療に用いる基本的器材 セ 歯科材料・機器 b 診療用器械、切削・研削工具・研磨材 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 ア 診療用器械 b エアタービン c マイクロモーター d レーザー機器 イ 切削・研削工具、研磨材 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療	*内山 敏一
2022/07/05 (火) 2時限 10:00～10:50	総論II：正常構造と機能，発生，成長，発達，加齢（生理学）	【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために，一般感覚と口腔感覚の成立機構を学ぶ。  【行動目標（SBOs）】 1. 感覚の種類を列挙できる。 2. 神経線維の分類を説明できる。 3. 口腔に存在する感覚器の種類を列挙できる。 4. 口腔感覚の伝導路を説明できる。 5. 味覚の成立機構を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：神経の分類と働きについて復習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：口腔感覚の種類と特徴，伝導路を復習する。 自己学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 ア 感覚 a 顔面皮膚、舌、口腔粘膜、口唇  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 ア 感覚 b 味覚、嗅覚	吉垣 純子
2022/07/05 (火) 3時限 11:00～11:50	総論II：正常構造と機能，発生，成長，発達，加齢（生理学）	【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために，顎反射の成立機構と意義を学ぶ。  【行動目標（SBOs）】 1. 伸張反射を説明できる。 2. 顎反射の種類を説明できる。 3. 顎反射の反射弓を説明できる。 4. 顎反射の咀嚼における意義を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：咀嚼筋の神経支配を復習しておく。 事後学修時間：1時間 事後学修項目：顎反射の種類・反射弓・特徴と咀嚼・顎位維持における役割を復習する。 事後学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/05 (火) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(生理学)	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎反射</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 咀嚼 b 咀嚼運動の調節</p>	吉垣 純子
2022/07/05 (火) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(生理学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>摂食機能を理解するために、嚥下・嘔吐の機構を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 摂食嚥下の5期を説明できる。</li> <li>2. 嚥下調節に関わる感覚伝導路を説明できる。</li> <li>3. 嚥下に関わる筋を列挙できる。</li> <li>4. 誤嚥を防止するメカニズムを説明できる。</li> <li>5. 嘔吐時の生体応答を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：頭頸部の解剖について復習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：摂食嚥下の5期について、関わる感覚伝導路と筋の働きを復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 エ 嚥下 b 嚥下の神経機構</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 d 吸啜、嘔吐</p>	吉垣 純子
2022/07/05 (火) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(生理学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>摂食機能を理解するために、唾液成分と唾液分泌機構を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 唾液腺の種類を列挙できる。</li> <li>2. 唾液成分と役割を列挙できる。</li> <li>3. 唾液分泌の調節機構を説明できる。</li> <li>4. 唾液の組成変化を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：外分泌と内分泌の違いを理解しておく。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：唾液の機能と分泌調節機構を復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 カ 唾液分泌 b 唾液の分泌機構</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 カ 唾液分泌 a 唾液の性状と機能</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/05 (火) 6時限 15:00～15:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(生理学)	<p>【授業の一般目標】 口腔機能としての構音の成立と障害を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 構音と発声の違いを説明できる。 2. 母音と子音の違いを説明できる。 3. 構音に必要な要素を説明できる。 4. 構音障害の種類と原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：声帯の構造を理解しておく。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：起こりうる構音障害をまとめる。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 オ 発声、構音</p>	吉垣 純子
2022/07/06 (水) 1時限 09:00～09:50	必修11 歯の硬組織疾患の治療 総論Ⅷ 成形修復材料、接着処理・技術、装着用材料	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、成形修復材料、診療用器械の特徴や使用法、窩洞ならびに各種合着用セメントについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 3. コンポジットレジンの歯質接着機構について説明できる。 4. コンポジットレジンの組成について説明できる。 5. 間接修復法について説明できる。 6. 窩洞について説明できる。 7. 各種合着用セメントについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：直接法コンポジットレジン修復、関節法修復について学修しておく。 ・準備学修時間： 60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学 第7版）</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ウ 歯内療法用材料 b 仮封材、裏層材、覆髄材 7 成形技術・機器 ウ 金属材料の成形技術・機器 a 鋳造工程 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理 a セラミック被着面処理 b コンポジットレジン被着面処理 9 装着用材料 ア 合着・接着用セメント a レジンセメント b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント</p>	*内山 敏一
2022/07/06 (水) 2時限 10:00～10:50	必修4：人体の正常構造・機能(微生物・免疫学)	<p>【授業の一般目標】 齶蝕、歯周病および口腔微生物と全身疾患への関わりについて理解するために、関連する口腔微生物と病原因子について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	栗原 紀子 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/06 (水) 2時限 10:00～10:50	必修4：人体の正常構造・機能（微生物・免疫学）	<p>1. 口腔常在微生物について説明できる。 2. 齲蝕に関連する微生物、病原因子および齲蝕発症機序を説明できる。 3. 歯周病に関連する微生物および病原因子を説明できる。 4. 全身疾患に関与する口腔微生物について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔常在微生物、齲蝕および歯周病に関与する微生物について予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 c プラーク（口腔バイオフィルム）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 2 全身・口腔の生態系 イ プラーク（口腔バイオフィルム） a 歯肉縁上プラーク b 歯肉縁下プラーク</p>	栗原 紀子 *齋藤 真規
2022/07/06 (水) 3時限 11:00～11:50	必修11：治療の基礎・基本手技（微生物・免疫学）	<p>【授業の一般目標】 微生物に対する感染対策および薬物療法を理解するために、滅菌・消毒法および抗感染薬について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 滅菌法の種類と適用について説明できる。 2. 消毒法の種類と適用について説明できる。 3. 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬の作用機序を説明できる。 4. 薬剤耐性AMRについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：滅菌と消毒、微生物に対する化学療法薬について学修しておく。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：講義内容の復習 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物療法 c 抗微生物薬</p>	栗原 紀子 *齋藤 真規
2022/07/06 (水) 4時限 13:00～13:50	必修4：人体の正常構造・機能（微生物・免疫学）	<p>【授業の一般目標】 口腔領域における宿主と微生物の関わりを理解するために、口腔領域の免疫機構について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液による防御機構を説明できる。 3. 歯肉溝滲出液による感染防御を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔の免疫機構を予習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：学修内容の復習 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	*齋藤 真規 栗原 紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/06 (水) 4時限 13:00～13:50	必修4：人体の正常構造・機能（微生物・免疫学）	講義 【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 g 免疫系（免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫）	*齋藤 真規 栗原 紀子
2022/07/06 (水) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅲ：病因・病態（微生物・免疫学）	【授業の一般目標】 免疫疾患を理解するために、免疫異常（アレルギー、免疫不全）に関する知識を習得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. アレルギーの種類、発症機序を説明できる。 3. 免疫不全について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：アレルギーの種類、免疫不全の種類を学修しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：教科書、講義プリントの内容の復習 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 ク 免疫異常 c アレルギー（過敏症）  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 ク 免疫異常 a 免疫不全	*齋藤 真規 栗原 紀子
2022/07/06 (水) 6時限 15:00～15:50	総論Ⅲ：病因・病態（微生物・免疫学）	【授業の一般目標】 免疫疾患を理解するために、免疫異常（自己免疫疾患）および予防ワクチンに関する知識を習得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。 3. ワクチンについて説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：自己免疫疾患、ワクチンについて学修しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：教科書、講義プリントの内容の復習 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 ク 免疫異常 b 自己免疫疾患  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 3 免疫 オ 獲得免疫 a 体液性免疫 b 細胞性免疫	*齋藤 真規 栗原 紀子
2022/07/07 (木) 1時限 09:00～09:50	必修：人体の発生・成長・発達・加齢（小児歯科）	【授業の一般目標】 小児の発育を考慮した小児歯科治療を実践するために、小児の身体的・精神的発達を理解する。  【行動目標（SBOs）】	*清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/07 (木) 1時限 09:00～09:50	必修：人体の発生・成長・発達・加齢 (小児歯科)	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の発育を説明できる。 3. 身体発育の特徴を説明できる。 4. 身体発育と精神発達の評価法を説明できる。 5. 小児の生理的特徴を理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の身体的・精神的発達について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：P C、配布資料</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 4 0 0 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 イ 人体の発育 a 発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 イ 人体の発育 b 成長・発達（形態的・生理的変化）の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達） c 小児の生理的特徴</p>	*清水 邦彦
2022/07/07 (木) 2時限 10:00～10:50	必修：人体の発生・成長・発達・加齢 (小児歯科)	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯・歯列の発育および小児への歯科的対応について理解する。</p> <p>【行動目標（S B O s）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の発育を説明できる。 3. 歯齢を説明できる。 4. 歯列の発育を説明できる。 5. 小児期の栄養について説明できる。 6. 口腔機能の発達について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の歯・歯列の発育について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：P C、配布資料</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 4 0 0 教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列・咬合の発育（発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 8 食生活と健康 ア 国民栄養の現状と対策 b 食事摂取基準 歯科医学各論 各論 IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 ウ 口腔機能向上に関する指導 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 エ 口腔健康管理 b 口腔機能管理</p>	*清水 邦彦
2022/07/07 (木) 3時限 11:00～11:50	必修4：社会と歯科医療（衛生学）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（S B O s）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ライフステージ別にみた保健事業を説明できる。 3. 地域保健関連機関を説明できる。 4. 公衆衛生活動、地域保健活動を説明できる。</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/07 (木) 3時限 11:00～11:50	必修4：社会と歯科医療（衛生学）	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 e 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 エ 保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み b 保健衛生法規 d 予防衛生法規 f 地域保健関連機関 g 福祉施設、介護施設 h 医療施設 a 公衆衛生活動、地域保健活動</p>	*有川 量崇
2022/07/07 (木) 4時限 13:00～13:50	必修4：社会と歯科医療（衛生学）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 医療法について説明できる。 3. 医療計画について説明できる。 4. 医事衛生法規について説明できる。 5. 救急・災害時等の歯科保健医療対策について説明できる。 6. へき地医療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 オ 地域の保健・医療 b 医療計画、健康増進計画</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 オ 地域の保健・医療 a 公衆衛生活動、地域保健活動 f 地域保健における都道府県、市町村、保健所の役割 g かかりつけ歯科医機能 h 救急・災害時等の歯科保健医療 i へき地医療 j 在宅医療</p>	*有川 量崇
2022/07/07 (木) 5時限 14:00～14:50	必修6：主な疾患と障害の病因・病態：摂食嚥下障害（障害者歯科学）	<p>【授業の一般目標】 摂食嚥下機能障害の病因と病態を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる 3. 摂食嚥下機能障害の病因について説明できる 4. 摂食嚥下機能障害の病態について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版の該当項目について予習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版の該当</p>	*林 佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/07 (木) 5時限 14:00～14:50	必修6：主な疾患と障害の病因・病態：摂食嚥下障害（障害者歯科学）	<p>項目について予習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 f 摂食嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 シ 口腔機能のリハビリテーション a 咀嚼機能、摂食嚥下機能、発話機能 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 エ 嚥下 a 摂食嚥下の5期 b 嚥下の神経機構 7 人体の成長・発達・加齢変化 ウ 口腔・顎の機能の発達 a 摂食嚥下機能 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 イ 評価 e 摂食嚥下障害</p>	*林 佐智代
2022/07/08 (金) 1時限 09:00～09:50	必修・乳歯の形態的特徴（小児歯科）	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、乳歯の形態的特徴、歯の数・形態・構造の異常、ならびに児童虐待について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 児童虐待について説明できる。 3. 乳歯および幼若永久歯の形態的特徴を説明できる。 4. 歯の数・形態・構造の異常について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集総論、各論I領域 準備学修時間：60分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列・咬合の発育（発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 g 児童虐待への対応</p>	*清水 邦彦
2022/07/08 (金) 2時限 10:00～10:50	必修：治療の基礎・基本手技（小児歯科学）	<p>【授業の一般目標】 安全な小児歯科診療を実施するために小児歯科治療の基礎および対応法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 年齢別による小児のコミュニケーションを説明できる。 3. 小児の対応法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の対応法について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分</p>	*清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/08 (金) 2時限 10:00～10:50	必修:治療の基礎・ 基本手技 (小児歯 科学)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:PC、配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 イ 小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 イ 小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 c コミュニケーション 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 a 小児の治療</p>	*清水 邦彦
2022/07/08 (金) 3時限 11:00～11:50	必修4:人体の正常 構造・機能(生 化学)	<p>【授業の一般目標】 染色体を理解するために、染色体・DNA・核酸の基本構造とDNA複製を学ぶ。 タンパク質合成を理解するために、転写・翻訳・翻訳後修飾を学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.染色体の特徴を説明できる。 2.テロメアを説明できる。 3.核酸の種類と相違点を説明できる。 4.DNA複製の機序を説明できる。 5.タンパク質の合成過程を説明できる(セントラルドグマ)。 6.転写されたmRNAの修飾を説明できる。 7.リボソームでの翻訳機構を説明できる。 8.タンパク質の翻訳後修飾(アミノ酸修飾・折りたたみ・シャペロン)を説明できる。 9.タンパク質の分解(ユビキチン-プロテオソーム系、オートファジー)を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間:60分 事後学修項目:配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間:120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体</p>	平塚 浩一 竹内 麗理
2022/07/08 (金) 4時限 13:00～13:50	必修4:人体の正常 構造と機能(生 化学)	<p>【授業の一般目標】 一般的な検査法を理解するために、生化学的解析手法を学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.ヒトゲノムの特徴を説明できる。 2.一塩基多型(NSPs)について説明できる。 3.Common diseaseには何かを説明できる。 4.PCR検査の基本的な原理を説明できる。 5.RNA発現解析(RT-PCR, Northern blot)を説明できる。 6.タンパク質発現解析(Western blot)を説明できる。 7.免疫組織化学染色とin situ hybridizationの違いを説明できる。 8.古典ワクチンと次世代ワクチンの種類と特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間:60分 事後学修項目:配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間:120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p>	平塚 浩一 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/08 (金) 4時限 13:00～13:50	必修4：人体の正常構造と機能（生化学）	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体</p>	平塚 浩一 竹内 麗理
2022/07/08 (金) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅲ：病因・病態（生化学）	<p>【授業の一般目標】 う蝕の発生機序を理解するために、S.mutansによる硬組織脱灰過程を学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ステファン曲線を説明できる。 2. Streptococciの糖代謝を説明できる。 3. 菌体外多糖の種類と形成機序を説明できる。 4. 代用甘味料の種類と意義を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：授業プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p>	平塚 浩一 竹内 麗理
2022/07/09 (土) 1時限 09:00～09:50	必修8：診察の基本（歯科矯正学）	<p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、不正咬合の特徴を捉え、診断および治療計画の立案に必要な検査・分析法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯列・咬合の診査項目を述べることができる。 3. 模型分析の項目と特徴を述べることができる。 4. 各種セファロ分析の項目と特徴を述べることができる。 5. 分析により得られたデータを統合して不正咬合の状態を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：(90分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 カ 歯列・咬合の診察 b 咬合状態</p>	*五関 たけみ
2022/07/09 (土) 2時限 10:00～10:50	必修9：検査・臨床判断の基本（歯科矯正学）	<p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、不正咬合の特徴を捉え、診断および治療計画の立案に必要な検査・分析法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯列・咬合の診査項目を述べることができる。 3. 模型分析の項目と特徴を述べることができる。 4. 各種セファロ分析の項目と特徴を述べることができる。 5. 分析により得られたデータを統合して不正咬合の状態を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：(90分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p>	*五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/09 (土) 2時限 10:00～10:50	必修9：検査・臨床判断の基本（歯科矯正学）	<p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 a 歯の検査</p>	*五関 たけみ
2022/07/09 (土) 3時限 11:00～11:50	必修5：人体の発生・成長・発達・加齢（歯科矯正学）	<p>【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 成長発育の評価について説明できる。 3. 骨年齢とその評価について説明できる。 4. 成長スパートの予測について説明できる。 5. 脳頭蓋の成長について説明できる。 6. 上顎骨の成長発育の特徴について説明できる。 7. 下顎骨の成長発育の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①Scammonの臓器発育曲線について ②生理的年齢について ③脳頭蓋の成長様式について ④上下顎骨の成長発育の特徴について ・事前学習時間：60分 ・事後学修項目：顎顔面頭蓋の成長発育について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 b 頭蓋骨（顔面骨を含む）の成長の特徴（成長の時期、骨形成様式）</p>	*石井 かおり
2022/07/11 (月) 1時限 09:00～09:50	必修12 治療の基礎・基本手技（歯内療法学） 総論Ⅱ・Ⅲ 構造と機能、発生、加齢、病因、病態	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、基本的な術式、構造と機能、発生、加齢、病因、病態を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の治療の基本的術式を説明できる。 3. 歯内分野における正常構造と機能、発生、加齢を説明できる。 4. 歯内分野における病因、病態を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法学総論全般 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 パワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p>	*神尾 直人
2022/07/11 (月) 2時限 10:00～10:50	必修12 治療の基礎・基本手技（歯内療法学） 総論Ⅳ・Ⅵ 主要症候・検査	<p>【授業の一般目標】 歯髄根尖歯周組織疾患の適切な診断・治療ができるようになるために、歯・歯髄・根尖歯周組織の主要症候、検査について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内分野における主要症候を説明できる。 3. 歯内分野における検査を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容 歯内療法全般 1時間</p>	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/11 (月) 2時限 10:00～10:50	必修12 治療の基礎・基本手技 (歯内療法学) 総論Ⅳ・Ⅵ 主要症候・検査	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体 プリント パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p>	*岡部 達
2022/07/11 (月) 3時限 11:00～11:50	必修12 治療の基礎・基本手技 (歯内療法学) 総論Ⅶ・Ⅷ 治療・歯科材料と歯科医療機器	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療ができるようになるために、歯・歯髄・根尖歯周組織疾患の治療、歯科材料と歯科医療機器を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内領域における治療法を説明できる。 3. 歯内領域における材料と医療機器を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 歯内療法全般 学習時間 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無 無し 媒体 プリント パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p>	*渡邊 昂洋
2022/07/11 (月) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅵ：検査 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査および治療計画について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織検査について理解できる。 3. 治療計画を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査および治療計画について予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織 (歯周病) 検査</p>	*高井 英樹
2022/07/11 (月) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅶ：治療 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周治療および歯周治療用材料を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療について理解できる。 3. 歯周外科治療の基本手技について理解できる。 4. 歯周治療用材料について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周治療について予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p>	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/11 (月) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅶ：治療（歯周治療学）	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p>	*高井 英樹
2022/07/11 (月) 6時限 15:00～15:50	必修11：治療の基礎・基本手技（歯周治療学）	<p>【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査、治療計画および治療法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織検査について理解できる。 3. 治療計画を立案できる。 4. 歯周治療について理解できる。 5. 歯周外科治療の基本手技について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査、治療計画および治療法を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p>	*高井 英樹
2022/07/12 (火) 1時限 09:00～09:50	必修2：社会と歯科医療（衛生学）、総論Ⅰ：社会保障と医療経済	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な社会保障制度、医療経済と国民医療費、国際保健の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 社会保障制度について説明できる。 3. 医療経済と国民医療費について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療経済と国民医療費の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：医療経済と国民医療費の知識を修得する。 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 g 国民医療費</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 4 医療経済 ア 医療経済 a 社会保障費と国民医療費 b 医療費負担と給付</p>	*有川 量崇
2022/07/12 (火) 2時限 10:00～10:50	必修2：チーム歯科医療（障害者歯科学）	<p>【授業の一般目標】 医療機関、地域医療でのチームワークについて説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 多職種連携について説明できる。</p>	*梅澤 幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/12 (火) 2時限 10:00～10:50	必修2：チーム歯科医療（障害者歯科学）	<p>3. 病診連携、診診連携について説明できる。 4. チームワーク形成について説明できる。 5. コンサルテーションについて説明できる。 6. 社会生活について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ チーム医療 a チーム医療の意義（多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ チーム医療 b 医療チームの構成員と役割 c チーム医療における歯科の役割（かかりつけ歯科医、在宅医療、歯科訪問診療） d 情報提供</p>	*梅澤 幸司
2022/07/12 (火) 3時限 11:00～11:50	必修11：治療の基礎・基本手技（障害者歯科学）	<p>【授業の一般目標】 障害者、高齢者、要介護者の治療について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スペシャルニーズのある人達の治療環境について説明できる。 3. スペシャルニーズのある人達の治療体位について説明できる。 4. スペシャルニーズのある人達のコミュニケーションについて説明できる。 5. スペシャルニーズのある人達に対するチーム医療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 イ 小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 イ 小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 b 患者の体位 c コミュニケーション</p>	*梅澤 幸司
2022/07/12 (火) 4時限 13:00～13:50	総論V：診察（障害者歯科学）	<p>【授業の一般目標】 障害児・者の歯科治療が行えるようになるために、障害者や高齢者の対応について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 障害者の保健・医療・福祉について述べられる。 3. 障害者の概念や分類を説明できる。 4. 障害者の行動調整法について述べられる。 5. 障害者および高齢者の歯科治療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p>	*梅澤 幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/12 (火) 4時限 13:00~13:50	総論V：診察（障害者歯科学）	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 診察 5 高齢者への対応 ア 診療の基本 a 診察時の注意</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論V 診察 2 小児への対応 オ 発達障害のある小児への対応 a 自閉スペクトラム症 [自閉症スペクトラム障害 (ASD)] b 注意欠如・多動症 [注意欠陥多動性障害 (ADHD)] c 限局性学習症 [学習障害 (LD)] 3 障害者への対応 ア 障害の概念 ウ 行動調整 エ 診察の基本 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理</p>	*梅澤 幸司
2022/07/12 (火) 5時限 14:00~14:50	総論VII：治療：摂食・嚥下障害のリハビリテーション（障害者歯科学）	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下機能の発達および加齢変化を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 摂食機能の発達について述べられる。 3. 嚥下のメカニズムについて説明できる。 4. 嚥下障害について述べられる。 5. 誤嚥性肺炎について述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VII 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 a 摂食嚥下障害のリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 エ 嚥下 a 摂食嚥下の5期 総論IV 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ク 口腔・顎顔面の機能障害 総論V 診察 5 高齢者への対応 イ 評価 e 摂食嚥下障害 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 e 摂食嚥下機能検査 f 発声・構音・発語検査 g 鼻咽腔閉鎖機能検査</p>	*野本 たかと
2022/07/16 (土) 1時限 09:30~11:10	平常試験1-① 必修・総論	<p>【授業の一般目標】 1. &lt;必修、領域A：総論&gt; ☆必修の基本的事項 ☆歯科医学総論I～VIII 上記について習得が出来ているか確認する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 必修の基本的事項について解答できる。 2. 歯科医学総論I～VIIIについて解答できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/16 (土) 1時限 09:30～11:10	平常試験1-① 必修・総論	<p>・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集などを参照すること</p> <p>・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし</p>	*有川 量崇
2022/07/19 (火) 1時限 09:00～09:50	総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学)	<p>【授業の一般目標】 被着面に対する接着術式、シーラントによる小窩・裂溝の填塞および歯内療法を適切に行うために、接着システム、予防填塞材料および歯内療法関連材料の種類や基本的性質について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科接着技術における歯質、金属およびセラミックスの被着面処理法について説明できる。 2. 予防歯科材料の種類、組成および性質について説明できる。 3. 歯内療法関連材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（接着、予防填塞材料、歯内療法関連材料）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 イ 予防填塞用材料 a アクリルレジン、コンポジットレジン b グラスアイオノマーセメント a 根管充填材 b 仮封材、裏層材、覆髄材 8 接着処理・技術 ウ 歯科材料接着処理 a セラミックス被着面処理 b コンポジットレジン被着面処理 c 金属被着面処理</p>	永田 俊介
2022/07/19 (火) 2時限 10:00～10:50	総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学)	<p>【授業の一般目標】 歯科用金属材料を適切に使用するために、それらの性質と取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科用金属材料の種類、組成および性質について説明できる。 2. 金属の成形加工、軟化熱処理および硬化熱処理について説明できる。 3. 歯科用磁性合金の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（歯科用金属、成形加工、熱処理）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	岩崎 太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/19 (火) 2時限 10:00～10:50	総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学)	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ア 材料の種類 c 金属材料</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 ウ 金属材料 a 金合金 b 低融銀合金、金銀パラジウム合金 c 陶材焼付用合金 d コバルトクロム合金 e チタン、チタン合金 f ステンレス鋼、歯科用磁性合金 7 成形技術・機器 ウ 金属材料の成形技術・機器 b 金属の接合 c 金属の加工</p>	岩崎 太郎
2022/07/19 (火) 3時限 11:00～11:50	総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科用セラミックスの臨床応用や歯科矯正治療を適切に行うために、ニューセラミックス、CAD/CAMシステムおよび矯正用材料の種類や基本的性質について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ニューセラミックスの種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>2. 歯科用CAD/CAMシステムにおける切削加工および付加製造について説明できる。</li> <li>3. スキャナー装置の種類および特徴について説明できる。</li> <li>4. 歯科矯正用材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（ニューセラミックス、CAD/CAMシステム、矯正用材料）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 イ セラミック材料 b ジルコニア、アルミナ、ガラスセラミックス</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 ア 診療用器械 e 口腔内スキャナー 7 成形技術・機器 エ CAD/CAM a 切削加工 b 積層造形（付加製造） 10 歯科矯正用材料 ア 線材料 a ステンレス鋼線 b コバルトクロム合金線 c チタン合金線 d その他合金線材 イ バンド、ブラケット、チューブ ウ エラスティック材、コイルスプリング エ 接着用材料</p>	岩崎 太郎
2022/07/19 (火) 4時限 13:00～13:50	総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>インプラント用材料、骨補填用材料および組織再生用膜材料を適切に使用するために、それらの性質と取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科インプラント用材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>2. 骨補填用材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> <li>3. 組織再生用膜材料の種類、組成および性質について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（インプラント用材料、骨補填用材料、組織工学用材料）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p>	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/19 (火) 4時限 13:00～13:50	総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 1 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 ア 口腔インプラント用材料</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 1 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 イ 骨補填用材料 ウ 骨接合・顎骨再建用材料 エ 細胞遮断膜 オ エナメルマトリックスタンパク質</p>	谷本 安浩
2022/07/19 (火) 5時限 14:00～14:50	必修3：予防と健康管理・増進(衛生学)	<p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.健康増進と疾病予防について説明できる。 2.地域保健について説明できる。 3.母子保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（地域保健、母子保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p>	後藤田 宏也
2022/07/19 (火) 6時限 15:00～15:50	必修3：予防と健康管理・増進(衛生学)	<p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.学校保健について説明できる。 2.産業保健について説明できる。 3.成人・高齢者保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（学校保健、産業保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 c 学校保健</p>	後藤田 宏也
2022/07/20 (水) 1時限 09:00～09:50	必修2 社会と歯科医療、必修5 人体の発生・成長・発達・加齢変化、	<p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の治療 無歯顎者に対する歯の欠損によって生じる障害の治療を適切に行えるようになるために、基本的術式および関連知識を修得する。</p>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/20 (水) 1時限 09:00～09:50	必修6 主要な疾患と障害の病因・病態、必修9 検査・臨床判断の基本、必修11 治療の基礎・基本手技(全部床義歯)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 補綴歯科治療に関わる感染予防対策について説明できる。</li> <li>3. 歯の喪失に伴う口腔・顎顔面の加齢変化について説明できる。</li> <li>4. 無歯顎者の病因・病態について説明できる。</li> <li>5. 無歯顎者の口腔環境の評価について説明できる。</li> <li>6. 無歯顎者の口腔機能(咀嚼機能、摂食嚥下機能、構音機能)の回復について説明できる。</li> <li>7. 全部床義歯治療における臨床操作について説明できる。</li> <li>8. 全部床義歯治療における技工操作について説明できる。</li> <li>9. 義歯装着後の口腔機能管理について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：全部床義歯治療の手順について確認する。 準備学習項目：(60分) 事後学習項目：配付資料と教科書を用いながら復習し必修対策を行う。 事後学習項目：(60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：教科書および配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠如・欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 キ 院内感染対策 a 標準予防策 (standard precautions) 5 人体の発生・成長・発達・加齢変化 エ 人体の加齢変化 a 細胞・組織・器官の形態的变化 (口腔および顎骨を含む) 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 e 咀嚼障害 g 発話障害 (発話機能障害) 9 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 g 口腔機能の検査 11 治療の基礎・基本手技 シ 口腔機能のリハビリテーション a 咀嚼機能、摂食嚥下機能、発話機能 ス 患者管理の基本 a 口腔環境の評価 (口腔清掃状態、補綴装置の清掃状態、残存歯の状態、口腔粘膜の状態、咬合状態、補綴装置の適合状態、顎堤の状態、唾液、味覚)</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/07/20 (水) 2時限 10:00～10:50	総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢、総論III 病因、病態、総論IV 主要症候、総論V 診察 (全部床義歯)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯に関連する基礎知識 (構造と機能、病態・症候・診察) 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、咀嚼、嚥下、発音とこれらの障害および症候について、全部床義歯補綴の理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 無歯顎者の解剖学的特徴について説明できる。</li> <li>3. 歯列欠損および無歯顎者の咬合様式について説明できる。</li> <li>4. 構音機能について説明できる。</li> <li>5. 無歯顎者の病態について説明できる。</li> <li>6. 無歯顎者の咀嚼障害、嚥下障害、発音障害について説明することができる。</li> <li>7. 無歯顎者にみられる口腔・顎顔面の機能障害 (咀嚼障害・発話障害など) について説明できる。</li> <li>8. 全部床義歯装着者にみられる主要症候を説明することができる。</li> <li>9. 診察における高齢者への対応について説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数 無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題 2時間 事後学習項目とそれに用いる時間数 上記および配布プリント 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 オ 発声、構音</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/20 (水) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢、総論Ⅲ 病因、病態、総論Ⅳ 主要症候、総論Ⅴ 診察 (全部床義歯)	歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ 歯の喪失に伴う変化・障害 a 口腔・顎顔面領域の変化・障害 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ク 口腔・顎顔面の機能障害 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 ア 診察の基本 a 診察時の注意 g Quality of Life (QOL)	*五十嵐 憲太郎
2022/07/20 (水) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅵ 検査、総論Ⅶ 治療、総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 (全部床義歯)	<b>【授業の一般目標】</b> テーマ：全部床義歯に関連する基礎知識 (検査、構成要素、材料) 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の検査・治療における基本的理論および材料学的な背景を理解する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯に関わる検査について説明できる。 3. 全部床義歯の構成要素を列挙できる。 4. 全部床義歯の維持・支持・安定について説明できる。 5. 印象用材料について説明できる。 6. 義歯用材料について説明できる。  <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学および関連国家試験問題の確認 ・準備学修時間：60分  <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> なし 配付資料および参考図書  <b>【学修方略 (LS)】</b> 講義  <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 400教室  <b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠如・欠損の治療  <b>【国家試験出題基準 (副)】</b> 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 e 歯列・咬合の検査 c 咀嚼機能検査 f 発声・構音・発語検査 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 c 高齢者の治療 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 3 印象用材料 ウ 機能印象材 6 歯冠修復・義歯用材料 ア レジン (樹脂) 系材料 a 加熱重合型アクリルレジン、常温重合型アクリルレジン b ポリスルフォン、ポリカーボネート オ 人工歯 カ 義歯床用リライン材	*五十嵐 憲太郎
2022/07/20 (水) 4時限 13:00～13:50	必修8：診察の基本・基本手技 (歯科総合診療学)	<b>【授業の一般目標】</b> 全人的医療を実践するために、歯科治療における診察の基本に関する知識を修得する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 診察のあり方に関する用語を説明できる。 3. 診察の基本手技について説明できる。 4. 診察時の体位について説明できる。 5. 口腔内診察時の基準と選択を説明できる。 6. 全身診察所見について説明できる。  <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> ・事前学習項目：過去の触診・体位に関する国家試験問題の確認 ・事前学習時間：10分 ・事後学修項目：触診・体位に関する特徴的所見の整理 ・事後学修時間：15分  <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> 無  <b>【学修方略 (LS)】</b> 講義  <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 400教室	*岡本 康裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/20 (水) 4時限 13:00～13:50	必修8：診察の基本・基本手技（歯科総合診療学）	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 イ 基本手技 a 視診、触診、打診、聴診</p>	*岡本 康裕
2022/07/20 (水) 5時限 14:00～14:50	総論VI：口臭検査、唾液検査、味覚検査（歯科総合診療学）	<p>【授業の一般目標】 適切な臨床診断を行うため、口腔検査、唾液検査、味覚検査について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液検査について説明できる。 3. 味覚検査について説明できる。 4. 口臭検査について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：唾液検査、味覚検査、口臭検査の概要について理解する。 ・事前学習時間：50分 ・事後学習項目：授業時配布プリントの復習 ・事後学習時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し・講義資料およびスライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 f 口臭検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 d 唾液・唾液腺検査 h 感覚（味覚、体性感覚）の検査</p>	*岡本 康裕
2022/07/20 (水) 6時限 15:00～15:50	必修2診療記録と診療情報&必修9医療面接（歯科総合診療学）	<p>【授業の一般目標】 適切な診療をおこなうために、診療録、診療情報および医療面接に関する基本的事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. SOAPについて説明できる。 3. 医療面接に意義・目的について説明できる。 4. 医療面接のマナーについて説明できる。 5. 感情面の対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：診療録、診療情報の管理と記録および医療面接のマナー、聴取事項について学修する。 ・事前学習時間：50分 ・事後学習項目：授業時配布プリントの復習 ・事後学習時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し・講義資料およびスライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） d 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） e 患者への説明・声かけ・例示</p>	*青木 伸一郎
2022/07/21 (木) 1時限 09:00～09:50	必修9 検査・臨床判断の基本：根拠に基づいた医療<EBM>	<p>【授業の一般目標】 テーマ：根拠に基づいた医療（EBM） 根拠に基づいた医療を行うためにEBMについての知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	*大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/21 (木) 1時限 09:00～09:50	必修9 検査・臨床判断の基本：根拠に基づいた医療<EBM>	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根拠に基づいた医療について説明できる。 3. EBMの手順を説明できる。 4. 問題の定式化について説明できる。 5. 科学的根拠について説明できる。 6. 診療ガイドラインについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：Minds医療情報サービスのウェブサイト を閲覧しておいてください minds.jcqh.or.jp/ 1時間 事後学修項目とそれに要する時間数 講義資料の見直し 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療（EBM） a 患者への適用</p>	*大久保 昌和
2022/07/21 (木) 2時限 10:00～10:50	必修11 治療の基礎・基本手技（部分床義歯）	<p>【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の治療 部分歯列欠損による障害の治療に関する基本的術式を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 可撤性部分床義歯の意義を述べることができる。 3. 可撤性部分床義歯の製作過程を説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：部分床義歯の目的について 1時間程度 事後学習項目：部分床義歯局部床義歯の製作過程について（日数をアレンジした過程を各自検討する。）1時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠如・欠損の治療</p>	*大久保 昌和
2022/07/21 (木) 3時限 11:00～11:50	必修6 主要な疾患と障害の病因・病態、必修8 診察の基本、総論VI 検査（部分床義歯）	<p>【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の基礎知識（病態・診察・検査） 歯列の欠損に対する障害の病因・病態とその診察・検査法について必要な知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の喪失に伴う口腔の変化を説明できる。 3. 歯の喪失による口腔・顎顔面の機能障害を説明できる。 4. 部分歯列欠損患者の咬合状態の診察法を説明できる。 5. 部分歯列欠損患者の歯列・咬合状態の検査法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯列の欠損に対する障害について学修する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 カ 歯列・咬合の診察 b 咬合状態</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 e 咀嚼障害 g 発話障害（発話機能障害）</p>	*大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/21 (木) 3時限 11:00～11:50	必修6 主要な疾患と障害の病因・病態、必修8 診察の基本、総論VI 検査 (部分床義歯)	歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 e 歯列・咬合の検査	*大久保 昌和
2022/07/21 (木) 4時限 13:00～13:50	総論II: 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 (クラウンブリッジ補綴学)	【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動と咬合の一般概念を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎運動に関連する頭頸部の筋を列挙できる。 3. 下顎運動に関連する頭頸部の筋の役割を説明できる。 4. 顎関節の構成と役割を説明できる。 5. 下顎運動の理解に必要な基準点、基準線、基準面を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 下顎運動と咬合の一般概念を理解する。  ・準備学修時間: 1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 a 下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動	*飯田 崇
2022/07/21 (木) 5時限 14:00～14:50	総論II: 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 (クラウンブリッジ補綴学)	【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動と咬合の概念を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎位を列挙して説明できる。 3. 咬頭嵌合位における上下顎機能咬頭の接触部位を説明できる。 4. 作業側、平衡側における下顎運動を説明できる。 5. 下顎運動と切歯路、顎路の関連を説明できる。 6. 咬合様式を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 下顎運動と咬合の概念を理解する。  ・準備学修時間: 1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ウ 咀嚼 a 咀嚼能力	*飯田 崇
2022/07/22 (金) 1時限 09:00～09:50	必修11: 治療の基礎・基本手技 (クラウンブリッジ補綴学)	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、臨床における歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 3. 支台歯形成に必要な器材を説明できる。 4. 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。 5. プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 6. クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: クラウンブリッジ補綴学第5版・6版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・準備学修時間: 1時間 ・事後学修項目: 授業の内容を理解する。 ・事後学修時間: 1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: PC、配布プリント	*内堀 聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/22 (金) 1時限 09:00～09:50	必修11：治療の基礎・基本手技（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p>	*内堀 聡史
2022/07/22 (金) 2時限 10:00～10:50	必修11：治療の基礎・基本手技（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、技工操作における歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴治療に必要な技工操作を説明できる。 3. 歯冠補綴治療に必要な感染対策を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、歯冠補綴装置の作製法を確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p>	*内堀 聡史
2022/07/22 (金) 3時限 11:00～11:50	必修11：治療の基礎・基本手技（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 クラウンの種類、ブリッジの種類について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンの種類について説明できる。 3. ブリッジの種類について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p>	*内堀 聡史
2022/07/22 (金) 4時限 13:00～13:50	必修11：治療の基礎・基本手技（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジの要件、ブリッジの構成要素、ブリッジの設計について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジの要件を説明できる。 3. ブリッジの構成要素を説明できる。 4. ブリッジの設計について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p>	*岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/22 (金) 4時限 13:00～13:50	必修11:治療の基礎・基本手技(クラウンブリッジ補綴学)	<p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p>	*岩田 好弘
2022/07/22 (金) 5時限 14:00～14:50	必修11:治療の基礎・基本手技(クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容および感染予防について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容を説明できる。 3.感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目:教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間:30分 ・事後学習項目:授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:配付資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p>	*岩田 好弘
2022/07/23 (土) 1時限 09:00～09:50	総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化(クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化と歯の喪失に伴う変化に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.加齢による歯・口腔・顎・顔面の形態的变化を説明できる。 3.加齢による歯・口腔・顎・顔面の機能的変化を説明できる。 4.歯の喪失に伴う形態的、機能的変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化と歯の喪失に伴う変化に関する知識を修得する。 準備学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 7 人体の成長・発達・加齢変化 エ 口腔・顎顔面の加齢変化 a 器質的变化</p>	*飯田 崇
2022/07/23 (土) 2時限 10:00～10:50	必修7:主要な症候&必修10:検査の基本(クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、加齢による歯・口腔・顎・顔面の症候および検査に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯列・咬合の症候を説明できる。 3.顎関節・筋の症候を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:歯・口腔・顎・顔面の症候および検査に関する知識を修得する。 準備学修時間:1時間</p>	*飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/23 (土) 2時限 10:00～10:50	必修7: 主要な症候&必修10: 検査の基本 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 主要症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 a 一般的症候 [疼痛、腫脹、腫瘤、潰瘍、色調、出血、瘻、触診の異常 (硬さ、熱感を含む)、機能障害 (開口障害を含む)]</p>	*飯田 崇
2022/07/23 (土) 3時限 11:00～11:50	総論V: 発生・成長・発達・加齢 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ説明できる。 3. 加齢・老化による歯・顎・顔面の形態的变化を説明できる。 4. 加齢・老化による歯・顎・顔面の機能的変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p>	*飯田 崇
2022/07/25 (月) 1時限 09:00～09:50	必修3: 予防と健康管理・増進(衛生学)	<p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. フッ化物の応用について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容 (フッ化物応用) を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用</p>	後藤田 宏也
2022/07/25 (月) 2時限 10:00～10:50	必修3: 予防と健康管理・増進(衛生学)	<p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. フッ化物の応用について説明できる。 2. 保健指導について説明できる。 3. 口腔のケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容 (フッ化物応用、保健指導、口</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/25 (月) 2時限 10:00～10:50	必修3：予防と健康管理・増進(衛生学)	腔ケアなどを整理・復習する。 事後学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 c 口腔清掃（歯磨剤を含む）	後藤田 宏也
2022/07/25 (月) 3時限 11:00～11:50	必修3：予防と健康管理・増進(衛生学)	【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 保健指導について説明できる。 2. 口腔清掃について説明できる。 3. 口腔のケアについて説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（口腔清掃など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導	後藤田 宏也
2022/07/25 (月) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅴ 診察（クラウンブリッジ補綴学）	【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ説明できる。 3. 加齢・老化による歯・顎・顔面の形態的变化を説明できる。 4. 加齢・老化による歯・顎・顔面の機能的変化を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 準備学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 イ 評価 b 手段的日常生活動作（IADL）	*飯田 崇
2022/07/25 (月) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅲ 病因、病態（クラウンブリッジ補綴学）	【授業の一般目標】 口腔顔面領域に発生する有痛性疾患に対応するために、顎・顔面領域の有痛性疾患の特徴を理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 脳神経系の役割について説明できる。 3. 口腔顔面領域の有痛性疾患について説明できる。 4. 非菌原性歯痛の原因疾患について説明できる。	*飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/25 (月) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅲ 病因、病態 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎・顔面領域の疼痛性疾患の特徴を理解する。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 サ 疼痛 c 口腔・顔面領域の疼痛</p>	*飯田 崇
2022/07/29 (金) 1時限 09:30～10:30	平常試験1-② 必修・総論	<p>【授業の一般目標】 1. &lt;必修, 領域A: 総論&gt; ☆必修の基本的事項 ☆歯科医学総論Ⅰ～Ⅷ 上記について習得が出来ているか確認する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 必修の基本的事項を説明できる。 2. 歯科医学総論Ⅰ～Ⅷについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表を参照すること ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p>	*有川 量崇
2022/07/30 (土) 1時限 09:00～09:50	必修9: 画像検査、 総論VI: 画像検査 (放射線学)	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、放射線の作用と性質・エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材・エックス線画像の原理、デジタルシステムについて学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 電離放射線について説明できる。 3. 電磁放射線・粒子放射線について説明できる。 4. エックス線撮影装置およびフィルムの構造について説明できる。 5. エックス線画像の形成について説明できる。 6. 歯科用デジタルエックス線画像診断システムについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：電離放射線、放射線の単位および測定、エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材、エックス線画像の形成、歯科用デジタルエックス線画像診断システムの基本について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：電離放射線、放射線の単位および測定、エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材、エックス線画像の形成、歯科用デジタルエックス線画像診断システムについて説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査</p>	*村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/30 (土) 1時限 09:00～09:50	必修9:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学)	b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ア エックス線画像の原理 a 電離放射線 b 放射線の単位・測定	*村岡 宏隆
2022/07/30 (土) 2時限 10:00～10:50	必修9:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学)	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 医療情報システムについて説明できる。 3. 放射線の人体への影響について説明できる。 4. 線量単位について説明できる。 5. 放射線防護と管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理の基本について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 イ 画像検査における医療情報 a 医療画像システム (PACS)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 c 放射線の防護・管理 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被曝の防護と管理 a 正当化・最適化・線量限度 b 患者と医療従事者の放射線防護</p>	*村岡 宏隆
2022/07/30 (土) 3時限 11:00～11:50	必修9:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学)	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影) について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口内法、パノラマエックス線検査の撮影法、原理について説明できる。 3. 口外法撮影の種類、原理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影</p>	*村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/07/30 (土) 3時限 11:00～11:50	必修9:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学)	a コントラストと分解能 b 口内法エックス線撮影 c パノラマエックス線撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線撮影	*村岡 宏隆
2022/08/01 (月) 1時限 09:00～09:50	総論I:保健・医 療と健康増進(衛 生学)	<p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、健康の保持・増進およびライフステージ別の保健・歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.健康の保持・増進と予防について説明できる。 2.母子保健と母子歯科保健について説明できる。 3.学校保健と学校歯科保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:SB0sについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間:1時間 事後学修項目:講義で配布したプリントの内容(母子歯科保健、学校歯科保健など)を整理・復習する。 事後学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:無 学修媒体等:メディアと配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 c 母子歯科保健の意義</p>	後藤田 宏也
2022/08/01 (月) 2時限 10:00～10:50	総論I:保健・医 療と健康増進(衛 生学)	<p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、健康の保持・増進およびライフステージ別の保健・歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.産業保健と産業歯科保健について説明できる。 2.高齢者保健と高齢者歯科保健について説明できる。 3.精神保健福祉について説明できる。 4.障害者保健福祉について説明できる。 5.口腔清掃について説明できる。 6.口腔のケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:SB0sについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間:1時間 事後学修項目:講義で配布したプリント(産業歯科保健、高齢者歯科保健など)を整理・復習する。 事後学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:無 学修媒体等:メディアと配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 ウ 産業保健、産業歯科保健 e 産業歯科保健の意義</p>	後藤田 宏也
2022/08/01 (月) 3時限 11:00～11:50	総論I:保健・医 療と健康増進(衛 生学)	<p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、環境保健について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.感染症対策について説明できる。 2.環境保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:SB0sについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間:1時間 事後学修項目:講義で配布したプリントの内容(感染症対策、環境保健など)を整理・復習する。 事後学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/01 (月) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅰ：保健・医療と健康増進（衛生学）	<p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 9 環境保健 ア 環境保健対策 a 地球環境の変化と健康影響</p>	後藤田 宏也
2022/08/01 (月) 4時限 13:00～13:50	必修9：画像検査、 総論Ⅵ：画像検査 （放射線学）	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、CT（単純）、CBCT、MRIについて学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. CTの原理、特徴、適応について説明できる。 3. CTの画像解剖について説明できる。 4. CBCTの原理、特徴、適応について説明できる。 5. MRIの原理、特徴、適応について説明できる。 6. MRIの画像解剖について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：CT（単純）、CBCT、MRIについて説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：CT（単純）、CBCT、MRIの原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT（単純、造影）、歯科用コーンビームCT</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p>	*村岡 宏隆
2022/08/01 (月) 5時限 14:00～14:50	必修9：画像検査、 総論Ⅵ：画像検査 （放射線学）	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、核医学検査、超音波検査について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 核医学検査（シンチグラフィ、PET）の原理、特徴、適応について説明できる。 3. 超音波検査の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：核医学検査（シンチグラフィ、PET）、超音波検査について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：核医学検査（シンチグラフィ、PET）、超音波検査の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 キ 核医学検査 a 原理、特徴、順応</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査</p>	*村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/01 (月) 5時限 14:00～14:50	必修9:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学)	2 画像検査 ク 超音波検査 a 原理、特徴、適応	*村岡 宏隆
2022/08/01 (月) 6時限 15:00～15:50	必修9:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学)	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、各種造影検査、画像の鑑別診断について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 造影検査 (エックス線検査、CT、MRI) の原理、特徴、適応について説明できる。 3. 画像の鑑別診断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 各種造影検査、画像の鑑別診断の基本について説明できる。 事前準備学修時間: 約30分 事後学修項目: 各種造影検査の原理、特徴、適応および画像の鑑別診断について説明できる。 事後準備学修時間: 約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)、歯科用コーンビームCT</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線撮影 a 原理、特徴、適応 b 造影剤と副作用</p>	*村岡 宏隆
2022/08/02 (火) 1時限 09:00～09:50	総論 I 保健・医療と健康増進 8食生活と健康 (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために栄養と食品保健を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 国民栄養の現状について説明できる。 2. 国民栄養の対策について説明できる。 3. 食生活指針について説明できる。 4. 食育基本法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 国民健康栄養調査結果、食生活指針 事前学修時間: 60分 事後学修項目: 国民健康栄養調査結果、食生活指針 事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 教科書・資料配布・マルチメディア使用</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 8 食生活と健康 ア 国民栄養の現状と対策 a 国民栄養の現状</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 8 食生活と健康 ア 国民栄養の現状と対策 c 食生活指針 b 食育基本法</p>	田口 千恵子
2022/08/02 (火) 2時限 10:00～10:50	総論 I 保健・医療と健康増進 8食生活と健康 (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために栄養と食品保健を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 食の安全性と機能性について説明できる。 2. 食事摂取基準について説明できる。 3. 機能性表示食品について説明できる。</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/02 (火) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 食生活と健康 (衛生学)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：食事摂取基準、食品表示法、食品衛生法 事前学修時間：60分 事後学修項目：食事摂取基準、食品表示法、食品衛生法 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 教科書・資料配布・マルチメディア使用</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 食生活と健康 ア 国民栄養の現状と対策 b 食事摂取基準</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 食生活と健康 イ 食品保健と食事指導 a 食の安全性と機能性 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 イ 評価 i 栄養状態</p>	田口 千恵子
2022/08/02 (火) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、我が国の歯科領域における統計調査と結果を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患実態調査について説明できる。 2. 齲蝕の疫学について説明できる。 3. 歯周疾患の疫学について説明できる。 4. 不正咬合の疫学について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で配布した資料を整理・復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ウ 保健医療統計調査 b 歯科領域における保健医療統計・疫学調査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 エ 齲蝕・歯周疾患の疫学要因 a 齲蝕の疫学要因 b 歯周疾患の疫学要因</p>	田口 千恵子
2022/08/02 (火) 4時限 13:00～13:50	必修2：社会と歯科医療、総論Ⅰ：保健の保持・増進と社会保障の仕組み (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景を説明できる。 3. 疾病・障害の概念・構造を説明できる。 4. 国際生活機能分類（ICF）を理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p>	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/02 (火) 4時限 13:00～13:50	必修2：社会と歯科医療、総論Ⅰ：保健の保持・増進と社会保障の仕組み（衛生学）	<p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 d 国際生活機能分類（ICF）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b リハビリテーションの理念 c ノーマライゼーションの理念 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 ア 健康・疾病・障害の概念 d ノーマライゼーション</p>	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇
2022/08/02 (火) 5時限 14:00～14:50	必修2：社会と歯科医療、総論Ⅰ：保健の保持・増進と社会保障の仕組み（衛生学）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 介護予防、生活支援について説明できる。 3. 地域包括ケアシステムについて説明できる。 4. 高齢者歯科保健の動向について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 プリント演習</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 f 地域包括ケアシステム</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 c 介護保険法 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 e 成人・高齢者保健 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 カ 地域包括ケアシステム a 医療と介護の連携 b 介護予防、生活支援 c 地域包括支援センター 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 オ 高齢者保健、高齢者歯科保健 a 現状、動向 b 高齢者の特性 c 高齢者歯科保健・高齢者の口腔管理 d 日常生活支援事業、介護予防、フレイル対策</p>	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇
2022/08/02 (火) 6時限 15:00～15:50	必修9：画像検査、総論Ⅵ：画像検査（放射線学）	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、放射線治療の生物学的・物理学的基礎、放射線治療について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 放射線治療の生物学的・物理学的基礎について説明できる。 3. 口腔領域の放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線治療の生物学的・物理学的基礎、放射線治療について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線治療の生物学的・物理学的基礎、口腔領域の放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p>	*村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/02 (火) 6時限 15:00～15:50	必修9:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 7 放射線療法 ア 放射線療法の生物学的・物理学的基礎 a 放射線感受性、生物学的効果、放射線療法の治療効果</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 7 放射線療法 イ 口腔領域の放射線療法 a 治療の意義と目的 b 種類、適応、特徴 a 有害事象の種類と特徴 b 有害事象に対する口腔管理</p>	*村岡 宏隆
2022/08/03 (水) 1時限 09:00～09:50	総論III:口腔顎 顔面領域の先天異 常	<p>【授業の一般目標】 疾患の成り立ちを理解し鑑別できるようになるために、口腔顎顔面領域の先天異常の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の先天異常を説明できる。 3.顎骨の先天異常を説明できる。 4.顔面の先天異常を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・事前学修時間:60分 ・事後学修項目:該当範囲の関連書籍の熟読 ・事後学修時間:120分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学習媒体:配布資料(プリント、pdfファイル)</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論III 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 a 先天異常・発育異常</p>	*末光 正昌
2022/08/03 (水) 2時限 10:00～10:50	総論I保健医療論 (歯科法医学)	<p>【授業の一般目標】 歯科法医学を理解するために、わが国における死体解剖、死因究明制度及び死後変化について学修する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.わが国における死体解剖について根拠となる法律とその目的について説明できる。 2.死因究明に関する2法における歯科医師の在り方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 1)死体解剖の制度 ・事前学修時間:30分 事後学修項目: 1)わが国の死体解剖に関する法規・目的 2)死因究明に関する法規と歯科医の在り方 ・事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディアの活用、アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 3 歯科法医学 ア 死因の究明 a 死体解剖と死因究明制度</p>	福井 謙二

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/03 (水) 3時限 11:00~11:50	総論Ⅰ保健医療論 (歯科法医学)	<p>【授業の一般目標】 歯科法医学を理解するために、死体に発現する全ての変化である死後変化（死体現象）および歯科法医学的な個人識別、身元確認について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 死体現象の法医学的意義について説明できる。 2. 早期死体現象について説明できる。 3. 晚期死体現象について説明できる。 4. 特殊死体現象について説明できる。 5. 死体の損壊について説明できる。 6. 身元不明死体の個人識別について説明できる。 7. 個人識別を目的としたデンタルチャートについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 死体現象の概要 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 死体現象の法医学的意義について 2) 早期死体現象について 3) 晚期死体現象について 4) 特殊死体現象について 5) 死体の損壊について 6) 身元不明死体の個人識別について 7) 個人識別を目的としたデンタルチャートについて ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディアの活用、アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 3 歯科法医学 ア 死因の究明 a 死体解剖と死因究明制度</p>	福井 謙二
2022/08/03 (水) 4時限 13:00~13:50	総論Ⅶ：治療（薬理学）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基礎を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物療法の種類とその特徴について説明できる。 2. 薬効に影響を及ぼす因子を列挙できる。 3. 薬物の作用部位・作用機序について説明できる。 4. 薬物の用量と生体反応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬物療法・薬理作用 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：演習問題に関連する知識（薬物療法の種類、薬効に影響を及ぼす因子、薬物の用量と生体反応について）を身につける。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（ミニッツペーパー） 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効</p>	三枝 禎 青野 悠里
2022/08/03 (水) 5時限 14:00~14:50	総論Ⅶ：治療（薬理学）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基礎を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の連用が起こす生体現象とその発現機構を説明できる。 2. 代表的な薬物の副作用・有害作用、薬物相互作用を挙げられる。 3. 代表的な鎮痛薬を挙げ、その作用機序を説明できる。 4. 代表的な抗炎症薬を挙げ、その作用機序を説明できる。 5. 薬物の保管・管理の留意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬物療法・薬理作用 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：演習問題に関連する知識（薬理作用の機序、副作用・有害作用、薬物相互作用、鎮痛薬、抗炎症薬について）を身につける。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（ミニッツペーパー）</p>	三枝 禎 青野 悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/03 (水) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅶ：治療（薬理学）	<p>学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効</p>	三枝 禎 青野 悠里
2022/08/03 (水) 6時限 15:00～15:50	必修10：検査・臨床診断の基本（臨床検査学）	<p>【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 臨床検査の種類を説明することができる。 3. 臨床検査の内容を説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次で学修した内容を説明できる。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：検査の基本について説明できる。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床診断の基本 エ 検体検査の種類 b 血液学検査</p>	* 淵上 真奈
2022/08/04 (木) 1時限 09:00～09:50	総論Ⅲ：歯・歯周組織の疾患、顎骨・顎関節の疾患	<p>【授業の一般目標】 適切な診断を行い病態に沿った処置方針を立案できるようになるために、「齶蝕と齶蝕に続発する疾患」「辺縁部歯周組織の病変」「顎骨の非腫瘍性病変」を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 齶蝕の病理組織像を理解する。 3. 歯髄炎の組織像を理解する。 4. 辺縁部歯周組織の病理組織像を理解する。 5. 顎骨の非腫瘍性病変の病理組織像を理解する。 6. 齶蝕と齶蝕に続発する疾患の病態を理解する。 7. 辺縁部歯周組織の病変の病態を理解する。 8. 顎骨の非腫瘍性病変の病態を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：該当範囲の関連書籍の熟読 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：配布資料（プリント、pdfファイル）</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p>	* 末光 正昌
2022/08/04 (木) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅲ：口腔粘膜の疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患の鑑別をできるようになるために、口腔粘膜疾患の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔粘膜の感染症を理解する。 3. 上皮性異形成を理解する。 4. 口腔粘膜扁平上皮癌を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習</p>	* 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/04 (木) 2時限 10:00～10:50	総論III：口腔粘膜の疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修時間：60分</li> <li>・事後学修項目：該当範囲の関連書籍の熟読</li> <li>・事後学修時間：120分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：配布資料（プリント、pdfファイル）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論III 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 c 口腔粘膜の疾患</p>	*末光 正昌
2022/08/04 (木) 3時限 11:00～11:50	総論VI：病理学検査及び治療に伴う病理学	<p>【授業の一般目標】 病変に対する適切な検査を選択できるようになるために、各種病理検査の特徴を理解する。 治療の生体への影響を理解するために、治療に伴う病理組織学的変化を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 各種病理検査の特徴を理解する。 3. 治療に伴う病理組織学的変化を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：該当範囲の関連書籍の熟読 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：配布資料（プリント、pdfファイル）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 3 検体検査 イ 検体の採取・保存・確認</p>	*末光 正昌
2022/08/04 (木) 4時限 13:00～13:50	総論VII：治療（薬理学）	<p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、適用方法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 適用方法の種類と特徴を説明できる。 2. 薬物の吸収に影響する因子を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「適用方法」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 イ 用法・用量 a 投与経路と剤形の種類と特徴</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態 歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態</p>	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/04 (木) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅶ：治療（薬理学）	<p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬物動態に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の吸収について説明できる。 2. 薬物の分布について説明できる。 3. 薬物の代謝について説明できる。 4. 薬物の排泄について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「薬物動態」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態</p>	松本 裕子
2022/08/04 (木) 6時限 15:00～15:50	必修2：社会と歯科医療（薬理学） 総論Ⅶ：治療（薬理学）	<p>【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために、薬物の保管・管理、臨床試験に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の管理について説明できる。 2. 臨床試験について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「薬物の保管・管理、臨床試験」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 d 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 イ 用法・用量 c 服薬計画・指導</p>	松本 裕子
2022/08/05 (金) 1時限 09:00～09:50	総論Ⅲ：顎骨の嚢胞・腫瘍・腫瘍様病変	<p>【授業の一般目標】 顎骨病変の鑑別をできるようにするため、顎骨病変の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯原性嚢胞を理解する。 3. 非歯原性嚢胞を理解する。 4. 歯原性腫瘍を理解する。 5. 顎骨の腫瘍と腫瘍様病変を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：該当範囲の関連書籍の熟読 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：配布資料（プリント、pdfファイル）</p>	*末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/05 (金) 1時限 09:00～09:50	総論III：顎骨の 嚢胞・腫瘍・腫瘍 様病変	<p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 e 顎骨・顎関節の疾患</p>	*末光 正昌
2022/08/05 (金) 2時限 10:00～10:50	総論III：軟組織 の疾患、唾液腺の 疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔の軟組織疾患と唾液腺の疾患を鑑別及び診断できるようになるために、口腔・唾液腺の腫瘍及び腫瘍性病変を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔の腫瘍と腫瘍様病変を理解する。 3. 唾液腺腫瘍を理解する。 4. 唾液腺の非腫瘍性病変を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：該当範囲の関連書籍の熟読 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：配布資料（プリント、pdfファイル）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 d 軟組織の疾患</p>	*末光 正昌
2022/08/05 (金) 3時限 11:00～11:50	総論III：口腔・ 顎顔面領域に症状 を伴う全身疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域に症状を伴う全身疾患を鑑別できるようになるために、それぞれの特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 免疫応答に関連した口腔病変を理解する。 3. 全身性疾患と口腔病変を理解する。 4. 口腔領域に徴候をみる症候群を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：該当範囲の関連書籍の熟読 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：配布資料（プリント、pdfファイル）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 g 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p>	*末光 正昌
2022/08/05 (金) 4時限 13:00～13:50	総論VII：治療（薬 理学）	<p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬物投与上の注意に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬力学的相互作用を説明できる。 2. 薬物動態学的相互作用を説明できる。 3. 禁忌、小児・妊婦・高齢者の適用上の注意を列挙し、その特徴を説明できる。 4. 口腔・顎顔面領域に現れる薬物の副作用を列挙し、その特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「薬物適用上の注意」「薬物相互作用」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p>	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/05 (金) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅶ：治療（薬理学）	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング：無</li> <li>・学修媒体：マルチメディア，プリント配布</li> </ul> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 イ 用法・用量 e 薬物適用の注意</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 7 主要症候 エ 薬物に関連する口腔・顎顔面領域の症候 a 歯の変色、歯の形成不全、歯肉肥大（歯肉増殖）、多形（滲出性）紅斑、抗腫瘍薬による口腔粘膜炎、菌交代症に伴う症候、顎骨壊死、唾液分泌量減少・増加、感覚異常 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策</p>	松本 裕子
2022/08/05 (金) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅶ：治療（薬理学）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>薬物療法を理解するために、临床上繁用される薬物に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 循環器系に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。</li> <li>2. 呼吸器系に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。</li> <li>3. 全身疾患を有する患者の適用上の注意を列挙し、説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：課題別講義時に配布した講義プリント（薬物の作用部位・作用機序）を復習する。</li> <li>・事前学修時間：30分</li> <li>・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。</li> <li>・事後学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング：無</li> <li>・学修媒体：マルチメディア，プリント配布</li> </ul> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 イ 用法・用量 e 薬物適用の注意</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策</p>	松本 裕子
2022/08/06 (土) 1時限 09:00～09:50	必修9：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</li> <li>2. 疫学の概念について説明できる。</li> <li>3. 疫学指標について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：SBOsについて3年次～5年次で学習した医療統計学および疫学の資料の復習。</li> <li>・事前学修時間：30分。</li> <li>・事後学修項目：授業で配布した資料の復習。</li> <li>・事後学修時間：60分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング：無し。</li> <li>・学修媒体：配付資料。</li> </ul> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p>	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/06 (土) 1時限 09:00～09:50	必修9：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学）	<p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療（EBM） d 臨床疫学的指標（アウトカム指標、相対危険度、寄与危険度、オッズ比）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a 疫学の概念</p>	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇
2022/08/06 (土) 2時限 10:00～10:50	必修9：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 観察研究、介入研究、臨床疫学について説明できる。 3. 因果関係の成立について説明できる。 4. 臨床疫学的指標（アウトカム、リスク比、オッズ比）について説明できる。 5. 歯科集団検診について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年次～5年次で学習した医療統計学および疫学の資料の復習。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料の復習。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 e 観察研究、介入研究</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療（EBM） d 臨床疫学的指標（アウトカム指標、相対危険度、寄与危険度、オッズ比） 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a 疫学の概念 b スクリーニング検査 d 因果関係の成立 f 臨床疫学</p>	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇
2022/08/06 (土) 3時限 11:00～11:50	必修9：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学）	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。」 2. 統計解析について説明できる。 3. 歯科領域における統計指標について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年次～5年次で学習した医療統計学および疫学の資料の復習。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料の復習。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用</p>	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/06 (土) 3時限 11:00～11:50	必修9：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学）	c 統計解析 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 疫学指標 b 歯科における疫学指標	*五十嵐 憲太郎 *有川 量崇
2022/08/08 (月) 1時限 09:00～09:50	必修2：社会と歯科医療（歯科麻酔学）	【授業の一般目標】 安全で適切な診療を行うために、医療事故の防止について理解する。 患者の満足度と医療の質の確保について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 患者の安全管理について説明することができる。 3. 医療者の安全管理について説明することができる。 4. ヒヤリハットについて説明することができる。 5. アクシデント・インシデントレポートについて説明することができる。 6. 患者説明文と同意書について説明することができる。 7. クリニカルパスについて説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「17. 医療安全管理」。  ・事後学修時間：60分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 カ 医療事故の防止 e アクシデント、インシデント（ヒヤリハット）、医療事故報告書、インシデントレポート、医療事故の発生要因分析  【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療の質の確保 c クリニカルパス b 患者説明文書、同意書	*鈴木 正敏
2022/08/08 (月) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅵ・4：生体機能検査；呼吸機能検査（歯科麻酔学）	【授業の一般目標】 生体機能検査のうち呼吸機能検査について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下を教授する。 2. 呼吸機能検査について説明できる。 3. 換気障害の分類について説明できる。 4. 閉塞性換気障害の病態について説明できる。 5. 拘束性換気障害の病態について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「p25`26、p75`78、」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管器疾患、腎・泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経・運動器疾患、内分泌・代謝・栄養疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	*竹森 真実
2022/08/08 (月) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅳ・4：全身管理に留意すべき呼吸器疾患（歯科麻酔学）	【授業の一般目標】 安全に歯科治療を行うために、注意すべき呼吸器疾患について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 呼吸器疾患患者に対する術前の評価法について説明することができる。 3. 歯科治療時に注意すべき呼吸器疾患について挙げ、注意点を説明することができる。	*竹森 真実

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/08 (月) 3時限 11:00~11:50	総論Ⅳ・4: 全身管理に留意すべき呼吸器疾患 (歯科麻酔学)	4. 周術期に留意すべき呼吸器疾患と周術期管理について説明することができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間: 30分。 ・事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間: 60分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング: 無し。 ・学修媒体: 配付資料。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患 a 呼吸器疾患	*竹森 真実
2022/08/08 (月) 4時限 13:00~13:50	必修10: 初期救急 (歯科麻酔学)	【授業の一般目標】 歯科治療中に発生した心肺停止状態に対応できるようになるために、救急蘇生法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 意識障害について説明することができる。 3. 意識障害の評価について説明することができる。 4. 一次救命処置 (BLS) について説明することができる。 5. 除細動とその適応について説明することができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「16. 救急救命処置」について学修しておく。 ・事前学修時間: 30分。 ・事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間: 60分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング: 無し。 ・学修媒体: 配付資料。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置 (BLS)	*石橋 肇
2022/08/08 (月) 5時限 14:00~14:50	必修10: 初期救急 (歯科麻酔学)	【授業の一般目標】 歯科治療中に発生した心肺停止に対応できるようになるために、救急蘇生法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 二次救命処置 (ALS) について説明することができる。 3. ALS時の薬物投与経路について説明することができる。 4. ALS時に使用する薬物について説明することができる。 5. 高度な気道確保について説明することができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「16. 救急救命処置」について学修しておく。 ・事前学修時間: 30分。 ・事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間: 60分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング: 無し。 ・学修媒体: 配付資料。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 初期救急 イ 救急処置 b 静脈路確保、酸素療法、救急医薬品	*石橋 肇
2022/08/09 (火)	必修2: 社会と歯	【授業の一般目標】	*鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～09:50	科医療（歯科麻酔学）院内感染対策	<p>院内感染に対する院内の取り組みについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 標準予防策（standard precautions）について説明できる。</li> <li>2. 個人防護具（PPE）について説明できる。</li> <li>3. 薬剤耐性と抗菌薬の適正使用について説明できる。</li> <li>4. 医療廃棄物処理法について説明できる。</li> <li>5. 感染対策委員会および感染制御（対策）チーム（ICT）の役割について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学。</li> <li>・事前学修時間：30分。</li> <li>・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。</li> <li>・事後学修時間：60分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 キ 院内感染対策 e 感染対策委員会、感染制御（対策）チーム（ICT）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 キ 院内感染対策 a 標準予防策（standard precautions） b 個人用防護具（PPE） c 薬剤耐性 [antimicrobial resistance（AMR）] と抗菌薬の適正使用 [antimicrobial stewardship（AMS）] d 医療廃棄物処理</p>	*鈴木 正敏
2022/08/09（火） 2時限 10:00～10:50	「総論Ⅶ：4.手術・周術期の管理、麻酔」（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>安全で快適な歯科治療を行うために、局所麻酔薬および添加される血管収縮薬の種類、特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき医科の内容を教授する。</li> <li>2. 局所麻酔薬の作用機序について説明することができる。</li> <li>3. 血管収縮薬の作用機序について説明することができる。</li> <li>4. 局所麻酔薬の種類について説明することができる。</li> <li>5. 血管収縮薬の種類について説明することができる。</li> <li>6. 局所麻酔薬の抗不整脈作用について説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「13.局所麻酔法」について学修しておく。</li> <li>・事前学修時間：30分。</li> <li>・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。</li> <li>・事後学修時間：60分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング：無し。</li> <li>・学修媒体：配付資料。</li> </ul> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 a 局所麻酔</p>	*下坂 典立
2022/08/09（火） 3時限 11:00～11:50	「総論Ⅶ：4.手術・周術期の管理、麻酔」、「各論Ⅲ：4.ソ、歯科における全身的偶発症とその対応」（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症、特に局所麻酔施行時に発症しやすい偶発症とその対応、予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 局所麻酔薬（リドカイン）中毒について説明することができる。</li> <li>3. 血管迷走神経反射の発症機序について説明することができる。</li> <li>4. 血管迷走神経発症時の対応について説明することができる。</li> <li>5. メトヘモグロビン血症の発症機序について説明することができる。</li> <li>6. メトヘモグロビン血症発症時の対応について説明することができる。</li> <li>7. アドレナリン過敏症の発症機序について説明することができる。</li> <li>8. アドレナリン過敏症発症時の対応について説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15. 歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。</li> </ul>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/09 (火) 3時限 11:00～11:50	「総論Ⅶ：4.手術・周術期の管理、麻酔」、「各論Ⅲ：4.ソ・歯科における全身的偶発症とその対応」 (歯科麻酔学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修時間：30分。</li> <li>・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。</li> <li>・事後学修時間：60分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。</p> <p>学修媒体：授業スライドおよび講義中記載した内容。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 c 全身的併発症、合併症</p>	*下坂 典立
2022/08/09 (火) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅶ：治療（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症とその対応および予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 血管迷走神経反射の発症機序について説明することができる。 3. 血管迷走神経反射発症時の対応について説明することができる。 4. 過換気症候群の発症機序について説明することができる。 5. 過換気症候群発症時の対応について説明することができる。 6. 合併症の予防について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15. 歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 c 全身的併発症、合併症</p>	*鈴木 正敏
2022/08/09 (火) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅶ：治療（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、精神鎮静法（笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法）の実際について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 精神鎮静法概念について説明することができる。 3. 笑気吸入鎮静法について説明することができる。 4. 笑気（亜酸化窒素）について説明することができる。 5. 静脈内鎮静法について説明することができる。 6. 静脈内鎮静法で使用する薬物について説明することができる。 7. 静脈内鎮静法時の呼吸抑制について、その原因と対応について説明することができる。 8. 静脈麻酔について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「12. 精神鎮静法」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔</p>	*鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/09 (火) 5時限 14:00～14:50	総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)	ウ 麻酔 c 精神鎮静法	*鈴木 正敏
2022/08/10 (水) 1時限 09:00～09:50	総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔-その1	<p>【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に導入方法および気管挿管について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔の導入について説明することができる。 3. 急速導入について説明することができる。 4. 緩徐導入について説明することができる。 5. 導入で使用する薬物について説明することができる。 6. 末梢性筋弛緩薬の使用理由について説明することができる。 7. 呼吸管理について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔</p>	*下坂 典立
2022/08/10 (水) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔-その2	<p>【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に気管挿管とその方法について説明することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 気管挿管について説明することができる。 3. 声門上器具について説明することができる。 4. 挿管困難患者の挿管方法について説明することができる。 5. 全身麻酔管理の維持方法について説明することができる。 6. 維持で使用する薬物について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔</p>	*下坂 典立
2022/08/10 (水) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔-その3	<p>【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に覚醒方法と全身麻酔合併症、そして体液管理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔の覚醒方法について説明することができる。 3. 覚醒時に使用する薬物について説明することができる。 4. 悪性高熱症について説明することができる。 5. 全身麻酔中の体液管理について説明することができる。 6. 輸血について説明することができる。 7. 日帰り全身麻酔について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。</p>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/10 (水) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔—その3 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後学習時間：60分。</li> <li>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</li> <li>・アクティブラーニング：無し。</li> <li>・学修媒体：配付資料。</li> <li>【学修方略（LS）】</li> <li>講義</li> <li>【場所（教室/実習室）】</li> <li>400教室</li> <li>【国家試験出題基準（主）】</li> <li>歯科医学総論</li> <li>総論Ⅶ 治療</li> <li>4 手術・周術期の管理、麻酔</li> <li>ウ 麻酔</li> <li>b 全身麻酔</li> </ul>	*下坂 典立
2022/08/10 (水) 4時限 13:00～13:50	必修8：主要な症候 (口腔外科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【授業の一般目標】</li> <li>顎口腔領域にあらわれる主要な症候を説明できるようにするために学習する。</li> <li>【行動目標（SBOs）】</li> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 全身疾患に関連して生じる口腔の症候を説明できる。</li> <li>3. 口腔粘膜にあらわれる症候を説明できる。</li> <li>4. 顎骨にあらわれる症候を説明できる。</li> <li>5. 顎関節に生じる症候を説明できる。</li> <li>6. 顔面・リンパ節に生じる症候を説明できる。</li> <li>7. 唾液腺にあらわれる症候を説明できる。</li> <li>【準備学修項目と準備学修時間】</li> <li>・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学、全般</li> <li>・準備学修時間：60分</li> <li>・事後学習項目：口腔の主要症候についての授業プリント、国家試験問題の確認する。</li> <li>・事後学習時間：90分</li> <li>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</li> <li>実施せず</li> <li>【学修方略（LS）】</li> <li>講義</li> <li>【場所（教室/実習室）】</li> <li>400教室</li> <li>【国家試験出題基準（主）】</li> <li>必修の基本的事項</li> <li>7 主要症候</li> <li>イ 口腔・顎顔面領域の症候</li> <li>f 口腔粘膜の症候</li> </ul>	*濱野 美緒
2022/08/10 (水) 5時限 14:00～14:50	必修12：治療の基礎・基本手技 (口腔外科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【授業の一般目標】</li> <li>安全な歯科治療を行なうために、必要な診療のための基本的知識、技能、診査や検査の解釈を習得する。</li> <li>【行動目標（SBOs）】</li> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 膿瘍の処置を説明できる。</li> <li>3. 膿瘍切開の手順を説明できる。</li> <li>4. 膿瘍切開の目的を説明できる。</li> <li>5. 治療の基礎・基本手技を説明できる。</li> <li>6. 抜歯の術式を説明できる。</li> <li>7. 抜歯の偶発症を説明できる。</li> <li>8. 抜歯に必要な器具を説明できる。</li> <li>【準備学修項目と準備学修時間】</li> <li>・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学、手術について</li> <li>・準備学修時間：60分</li> <li>・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。</li> <li>・事後学習時間：90分</li> <li>準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学、手術について</li> <li>準備学修時間：3時間</li> <li>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</li> <li>実施せず</li> <li>【学修方略（LS）】</li> <li>講義</li> <li>【場所（教室/実習室）】</li> <li>400教室</li> <li>【国家試験出題基準（主）】</li> <li>必修の基本的事項</li> <li>11 治療の基礎・基本手技</li> <li>ク 膿瘍の処置</li> <li>a 穿刺、切開、ドレナージ</li> </ul>	*濱野 美緒
2022/08/10 (水) 6時限 15:00～15:50	総論Ⅶ 治療 (口腔外科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【授業の一般目標】</li> <li>顎口腔領域に関連する周術期の管理について説明できるよう学習する。</li> </ul>	*濱野 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	総論Ⅶ 治療 (口腔外科)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 全身管理に留意する疾患を説明できる。</li> <li>3. 周術期の管理を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：顎口腔領域治療に関連する周全身疾患について説明できる。 事前学修時間：30分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ア 手術 f 抜歯、口腔の小手術</p>	*濱野 美緒
2022/08/15 (月) 1時限 09:30～11:15	平常試験1-③- 必修・平常試験1 -③-総論	<p>【授業の一般目標】</p> <p>〈必修、領域A:総論〉 ☆必修の基本的事項 ☆歯科医学総論Ⅰ～Ⅷ に関する学習効果を確認する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必修の基本的事項について説明できる。</li> <li>2. 歯科医学総論Ⅰ～Ⅷの各項目について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表 を参照すること</p> <p>・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>その他 該当なし</p>	*有川 量崇
2022/08/16 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周病を治療するために、歯周病の原因、リスクファクター、宿主因子、全身疾患との関わりおよびその特徴と病態を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 歯周病のリスクファクターを列挙することができる。</li> <li>3. 歯周病の宿主因子について説明することができる。</li> <li>4. 歯周病の環境因子について説明することができる。</li> <li>5. 歯周病の増悪因子について説明することができる。</li> <li>6. 歯周病の病態について説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：歯周病の原因、リスクファクター、宿主因子、全身疾患との関わりおよびその特徴と病態を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 b 歯周炎とそのリスクファクター</p>	*高井 英樹
2022/08/16 (火) 2時限	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周病を治療するために、歯周基本治療で行う項目の内容を理解し、歯周外科</p>	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:00～10:50	(歯周治療学)	<p>治療が必要な場合は、その適応と術式を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 歯周基本治療で行う項目を列挙できる。</li> <li>3. 歯周基本治療で行う内容について説明できる。</li> <li>4. 歯周外科治療の種類と適応症について説明できる。</li> <li>5. 歯周外科の術式と使用器具について説明できる。</li> <li>6. 歯周組織再生療法について説明できる。</li> <li>7. 再評価検査の時期と目的を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周治療の流れ、歯周基本治療および外科治療を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)</p>	*高井 英樹
2022/08/16 (火) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 特殊な歯周病、高齢者および全身疾患を有する患者の歯周治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 特殊な歯周病の治療について説明できる。</li> <li>3. 全身疾患を有する患者の歯周治療の注意点について説明できる。</li> <li>4. 高齢者の歯周治療について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：特殊な歯周病、高齢者および全身疾患を有する患者の歯周治療を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 k 全身疾患を有する者の歯周疾患治療</p>	*高井 英樹
2022/08/16 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学) 病 因・病態・症候	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療できるようになるために、歯髄・根尖歯周疾患の原因・病態・症候を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 歯髄・根尖歯周疾患の症候の変化を説明できる。</li> <li>3. 歯髄・根尖歯周疾患の主訴を説明できる。</li> <li>4. 歯髄・根尖歯周疾患の検査の意図を説明できる。</li> <li>5. 歯髄・根尖歯周疾患の検査を選択できる。</li> <li>6. 歯髄・根尖歯周疾患の診断プロセスを説明できる。</li> <li>7. 歯髄・根尖歯周疾患の処置方針を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目 歯内療法全般 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし パワーポイントとそのプリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	*神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/16 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患（歯内療法学）病因・病態・症候	歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患	*神尾 直人
2022/08/16 (火) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患（歯内療法学）検査・治療・外傷歯の処置	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、歯内療法 の原則、処置法、用いる器具・材料、高齢者に対する配慮、外傷歯の病態と治 療について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内療法の治療の原則を説明できる。 3. 歯髄・根尖性歯周疾患の処置を選択できる。 4. 歯内療法の器具、材料を選択できる。 5. 歯内療法における高齢者に対する配慮を説明できる。 6. 外傷歯の病態と治療を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 媒体パワーポイント、プリント。  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 d 歯の外傷	*神尾 直人
2022/08/16 (火) 6時限 15:00～15:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（障害者歯科学）	【授業の一般目標】 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常を理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 各症候群の特徴を述べられる。 3. 口腔・顎・顔面に異常を来す症候群について述べられる。 4. 症候群と口腔の特徴について述べられる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当 項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当 項目について熟読する。 事後学習時間 60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 エ 染色体異常 a Down症候群  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 エ 染色体異常 b Turner症候群 a Crouzon症候群 b Treacher Collins症候群 c 鎖骨頭蓋骨異形成症（鎖骨頭蓋異骨症） d 第一第二鰓弓症候群 e 軟骨無形成症 a Beckwith-Wiedemann症候群 b Marfan症候群 e 先天性外胚葉形成不全（先天性外胚葉異形成症） d 骨形成不全症	*梅澤 幸司
2022/08/17 (水) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患（歯内療法学）根 未完成歯・歯内歯 周疾患・外科的歯	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、 再根管治療、歯内一歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその 予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。	*神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/17 (水) 1時限 09:00～09:50	内療法	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 根未完成歯の歯内療法を説明できる。</li> <li>3. 再根管治療を説明できる。</li> <li>4. 歯内一歯周疾患の治療を説明できる。</li> <li>5. 内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 パワーポイント プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法</p>	*神尾 直人
2022/08/17 (水) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患 (歯内療法学) 偶発症・顕微鏡による治療	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、再根管治療、歯内一歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。</li> <li>3. 外科的歯内療法を説明できる。</li> <li>4. 歯内療法処置の偶発症とその予防を説明できる。</li> <li>5. 顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 プリント、パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p>	*神尾 直人
2022/08/17 (水) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 (歯科矯正学)	<p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために必要な不正咬合の病態および原因について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 不正咬合の先天的原因について説明できる。</li> <li>3. 不正咬合の後天的 (環境的) 原因について説明できる。</li> <li>4. Angle I級、II級、III級不正咬合の特徴を説明できる。</li> <li>5. 顎顔面頭蓋に変形を生じる先天異常とその特徴を列挙できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：不正咬合の原因、不正咬合の分類、形態的検査、機能的検査について理解しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合の診断 ウ 診断</p>	*根岸 慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/17 (水) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	<p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、矯正治療の流れを理解し矯正力と歯の移動について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 矯正治療の流れを説明できる。 3. 矯正力の種類とその特徴を説明できる。 4. 固定について説明できる。 5. 歯の移動様式と生体反応について説明できる。 6. 矯正治療における偶発症を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 矯正力の種類、作用様式および歯の移動様式、固定の種類について 事前学習時間 60分 事後学修項目 配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療</p>	*根岸 慎一
2022/08/17 (水) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅰ成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	<p>【授業の一般目標】 乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べることができる。 3. 舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 4. ヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 5. 床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 6. 拡大装置の種類および作用効果について説明できる。 7. 矯正治療前後での計測角の変化について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料、教科書（歯科矯正学第6版：p215-262）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 a 動的咬合誘導</p>	*石井 かおり
2022/08/17 (水) 6時限 15:00～15:50	各論Ⅰ成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	<p>【授業の一般目標】 各論の内容を復習し、臨床実地問題につながる知識について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. セファロ分析の項目について説明できる。 3. 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べることができる。 4. 矯正治療前後での計測角の変化について述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：セファロ分析の計測項目について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料、教科書（歯科矯正学第6版：p215-262）</p> <p>【学修方略（LS）】</p>	*石井 かおり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/17 (水) 6時限 15:00～15:50	各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 (歯科矯正学)	講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合の診断 ウ 診断	*石井 かおり
2022/08/18 (木) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 (小児歯科学) 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 (小児歯科学)	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯周疾患、小児の外傷、乳歯の抜歯について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯周疾患について説明できる。 3. 小児の外傷について説明できる。 4. 小児の抜歯について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の歯周疾患、歯の外傷、外科的処置の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織疾患 c 非齶蝕性硬組織疾患 d 非齶蝕性硬組織疾患への対応 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 b 歯髄疾患への対応 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 4 小児の歯・口腔・顎の外傷 ア 歯の外傷の病態・診断・治療 a 乳歯 イ 口腔粘膜外傷の病態・診断・治療 オ 歯の外傷の予防 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 a 小児の治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療	*清水 邦彦
2022/08/18 (木) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 (小児歯科学)	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、口腔粘膜疾患、咬合誘導、小児疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の形成障害について説明できる。 3. 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 4. 小児の咬合誘導について説明できる。 5. 小児疾患・症候群と口腔症状の関連について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の咬合誘導、治療時に留意すべき疾患の項目 準備学修時間：120分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略 (LS)】	*伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/18 (木) 2時限 10:00~10:50	各論Ⅰ 成長発育 に関連した疾患・ 病態 (小児歯科学)	講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織疾患 c 非齲蝕性硬組織疾患  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ア 数の異常 a 過剰歯 b エナメル質形成不全 (症) c 象牙質形成不全 (症) 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 イ 遺伝性疾患 (主に口腔に症状がみられる) d 骨形成不全症 e 先天性外胚葉形成不全 (先天性外胚葉異形成症)	*伊藤 龍朗
2022/08/18 (木) 3時限 11:00~11:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患 (保存修 復学) : 歯の硬組 織疾患	【授業の一般目標】 齲蝕、非齲蝕性硬組織疾患、変色および象牙質知覚過敏症に対して適切な処置 が行えるようになるために、その原因と診断および対処法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. エナメル質齲蝕の特徴と進行について説明できる。 3. 象牙質齲蝕の特徴と進行について説明できる。 4. 根面齲蝕の特徴と進行について説明できる。 5. 高齢者の齲蝕の特徴について説明できる。 6. ICDASについて説明できる。 7. Tooth wear (歯の損耗) による歯の硬組織疾患の種類とその特徴について説 明できる。 8. 歯の破折の検査法と診断について説明できる。 9. 歯の変色・着色の原因とその処置方針について説明できる。 10. 象牙質知覚過敏症の特徴とその処置方針について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: エナメル質、象牙質、セメント質の組成と構造について学修し ておく。 準備学修時間: 30分 事後学修項目: 講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間: 60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし 学修媒体: 配布資料、スライド  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齲蝕の病因  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 b 齲蝕のリスクファクター c tooth wear (歯の損耗) d 象牙質知覚過敏症 e 歯の変色・着色 f 歯の亀裂・破折 a 根面齲蝕 b 初期齲蝕の診断 c フッ化物応用 d 食生活指導	*平山 聡司
2022/08/18 (木) 4時限 13:00~13:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患 (保存修 復学) : 間接修復 法	【授業の一般目標】 実質欠損が生じた歯の機能を回復するために、間接修復法に関する適応症、窩 洞の具備条件、印象採得、インレー体の作製および装着法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 各種間接修復法の特徴と適応症について説明できる。 3. メタルインレー修復とセラミックインレー修復窩洞の特徴について説明でき る。 4. レジンコーティング法の目的とその術式について説明できる。 5. 窩洞形成後の印象採得と仮封について説明できる。	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/18 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学）：間接修復法	<p>6. セラミックインレー体の作製方法とその特徴について説明できる。 7. インレー体装着時のインレー体内面処理について説明できる。 8. 歯科用セメントの種類とその特徴について説明できる。 9. 間接修復法の前後とその対処法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：間接修復法の窩洞の違いについて理解しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 窩洞形成法 d 象牙質・歯髄保護法</p>	*平山 聡司
2022/08/18 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学）：MI Dentistryと接着修復	<p>【授業の一般目標】 歯の欠損に対して適切な接着修復を行うために、Minimal Intervention (MI) Dentistryに基づいた窩洞形成法、歯質接着メカニズムおよび接着操作について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MI Dentistryについて説明できる。 3. コンポジットレジン修復法の特徴と適応症について説明できる。 4. コンポジットレジン修復における歯質接着性について説明できる。 5. 接着修復法の臨床術式と操作上の要点について説明できる。 6. 重合収縮応力の発生とその緩和方法について説明できる。 7. 補修修復に必要な処理材とその術式について説明できる。 8. コンポジットレジン修復後の保全について説明できる。 9. グラスアイオノマーセメント修復の特徴と適応症について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：課題別臨床実習Ⅱで配布した講義資料を確認しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 補修修復</p>	*平山 聡司
2022/08/19 (金) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態（小児歯科学）	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の齶蝕と齶蝕予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の齶蝕の特徴を説明できる。 3. 小児の齶蝕予防について説明できる。 4. フッ化物の局所応用について説明できる。 5. 小窩裂溝填塞法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の齶蝕の項目。 準備学修時間：30分</p>	*伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/19 (金) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 (小児歯科学)	<p>事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織疾患 a 齲蝕</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 c フッ化物応用 d 食生活指導 e 口腔清掃指導</p>	*伊藤 龍朗
2022/08/19 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 (小児歯科学)	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯冠修復について説明できる。 3. 既製金属冠について説明できる。 4. 乳歯の歯内療法について説明できる。 5. 幼若永久歯の歯内療法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の歯冠修復、歯内療法の項目 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織疾患 b 齲蝕への対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 歯髄疾患 b 歯髄疾患への対応 c 根尖性歯周疾患 d 根尖性歯周疾患への対応</p>	*伊藤 龍朗
2022/08/19 (金) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 健康保持・増進のための歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理に関する指標の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齲蝕の予防効果の評価 2. 初期齲蝕の診断 3. 歯周疾患の予防効果の評価 4. 歯のフッ素症の評価</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理について 事前学修時間：60分 事後学修項目：歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理について 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書・資料配布・マルチメディア</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/19 (金) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 (衛生学)	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 b 初期齲蝕の診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 c フッ化物応用</p>	田口 千恵子
2022/08/19 (金) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅴ 配慮が必 要な高齢者・有病 者・障害者等に 関連した疾患・病態・ 予防ならびに歯科 診療 (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために各ライフステージにおける歯の硬組織疾患、 歯周疾患、口腔機能に関する指導について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 摂食機能療法について説明できる。 2. 口腔機能評価について説明できる。 3. 高齢者の栄養について説明できる。 4. 高齢者の口腔衛生管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：各ライフステージにおける齲蝕・歯周疾患・口腔機能の問題点 について 事前学修時間：60分 事後学修項目：各ライフステージにおける齲蝕・歯周疾患・口腔機能の問題点 について 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書・資料配布・マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防 ならびに歯科診療 5 高齢者等に関連した予防と管理 ア 歯の喪失予防 a 口腔保健指導</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防 ならびに歯科診療 7 摂食嚥下障害への対応 (摂食機能療法) オ 栄養療法 4 高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 イ 口腔機能の評価 a 口腔機能および摂食嚥下機能 5 高齢者等に関連した予防と管理 イ フレイル予防のための歯科保健管理 a 口腔衛生管理 b 口腔機能管理 c 栄養管理 d 口腔機能低下症の予防管理</p>	田口 千恵子
2022/08/19 (金) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防管理のために用いられる口腔衛生状態の評価、口腔清掃指導、 口腔ケアについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔衛生状態の評価について説明できる。 2. 口腔清掃方法について説明できる。 3. 歯磨き剤について説明できる。 4. 口腔ケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の予防管理のための口腔清掃方法、口腔ケア 事前学修時間：60分 事後学修項目：歯科疾患の予防管理のための口腔清掃方法、口腔ケア 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書・資料配布、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/19 (金) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (衛生学)	<p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 e 口腔清掃指導</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 オ 高齢者の歯の硬組織疾患 b 根面齶蝕への対応 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 c 口腔清掃指導 e 生活習慣指導</p>	田口 千恵子
2022/08/24 (水) 1時限 09:30～10:15	平常試験2	<p>【授業の一般目標】 (領域B:各論) ☆成長発育に関連した疾患・病態 ☆歯・歯髄・歯周組織の疾患 に関する学習効果を確認する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.成長発育に関連した疾患・病態について説明できる。 2.歯・歯髄・歯周組織の疾患について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:講義ノート, 講義配布資料, 教科書, 実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程, 領域別出題数表 を参照すること ・準備学修時間:十分な準備学修時間をとること</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 その他 該当なし</p>	*有川 量崇
2022/08/25 (木) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・ 顎顔面欠損と機能 障害(部分床義歯 による治療)	<p>【授業の一般目標】 テーマ:部分床義歯の構成要素1(支台装置:クラスプとアタッチメント) 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分 床義歯の構成要素(支台装置)について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の支台装置について説明できる。 3.支台装置の種類を説明できる。 4.支台装置の具備条件を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:教科書・参考図書(歯学生のパーシャルデンチャー、スタン ダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床 義歯補綴学)での関連項目の確認 ・準備学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p>	*伊藤 誠康
2022/08/25 (木) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・ 顎顔面欠損と機能 障害(部分床義歯	<p>【授業の一般目標】 テーマ:部分床義歯の構成要素2(連結子・フレームワーク・義歯床・人工歯) 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分</p>	*伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	による治療)	<p>床義歯の構成要素（連結子・フレームワーク・義歯床・人工歯）について理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 部分床義歯の連結子について説明できる。  3. 部分床義歯のフレームワークについて説明できる。  4. 部分床義歯の義歯床について説明できる。  5. 部分床義歯に用いられる人工歯について説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認  ・準備学修時間：60分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  無  配付資料および参考図書</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  4 部分床義歯による治療  ア 義歯の設計  b 義歯の構成要素</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  4 部分床義歯による治療  ア 義歯の設計  a 設計の原則  c サペイング、設計線の記入  d 支台装置、連結子、フレームワークの製作  e 人工歯の選択・排列・歯肉形成</p>	*伊藤 誠康
2022/08/25 (木) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（部分床義歯による治療）	<p><b>【授業の一般目標】</b>  テーマ：部分床義歯の設計原則・サペイング  部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の設計原則およびそれを具現化するためのサペイングについて理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 部分床義歯の設計原則について説明できる。  3. 部分床義歯のサペイングについて説明できる。  4. 部分床義歯の設計線の記入について説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認  ・準備学修時間：60分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  無  配付資料および参考図書</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  4 部分床義歯による治療  ア 義歯の設計  a 設計の原則</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  4 部分床義歯による治療  ウ 技工操作  c サペイング、設計線の記入</p>	*伊藤 誠康
2022/08/25 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（部分床義歯による治療）	<p><b>【授業の一般目標】</b>  テーマ：部分床義歯の臨床操作・技工操作1（個人トレーの製作、前処置、印象採得、フレームワークの製作）  部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の臨床操作および技工操作について理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 部分床義歯の個人トレーの製作について説明できる  3. 部分床義歯製作時の前処置について説明できる。  4. 部分床義歯の印象採得について説明できる。  5. 部分床義歯の作業用模型の製作について説明できる。</p>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/25 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (部分床義歯による治療)	6. 部分床義歯の構成要素 (支台装置、連結子、フレームワーク) の製作方法を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書 (歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学) での関連項目の確認 ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 c サベイング、設計線の記入 b 印象採得 a 個人トレーの製作、作業用模型の製作 c サベイング、設計線の記入 d 支台装置、連結子、フレームワークの製作	*五十嵐 憲太郎
2022/08/25 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (部分床義歯による治療)	【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の臨床操作・技工操作2 (顎間関係の記録、人工歯排列、試適、装着) 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の臨床操作および技工操作について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 3. 部分床義歯製作時の咬合器装着・調節について説明できる。 4. 部分床義歯の人工歯の選択・排列・歯肉形成について説明できる。 5. 部分床義歯製作時の試適 (ろう義歯、フレームワーク) について説明できる。 6. 部分床義歯製作時の埋没、重合について説明できる。 7. 部分床義歯製作時の咬合調整 (削合) と仕上げについて説明できる。 8. 部分床義歯の装着について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書 (歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学) での関連項目の確認 ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d 試適 (ろう義歯、フレームワーク) e 装着 f 埋没、重合 g 咬合調整 (削合) と仕上げ	*五十嵐 憲太郎
2022/08/25 (木) 6時限 15:00～15:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (部分床義歯による治療) 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (有床義歯補	【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯装着後の管理・補綴歯科治療の評価・高齢者の補綴治療 部分歯列欠損を有する高齢患者の適切な指導・管理方法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯装着後の管理について説明できる。 3. 補綴歯科治療の効果の評価について説明できる。 4. 補綴装置装着後の口腔機能向上に関する指導について説明できる。 5. 口腔機能に応じた栄養指導について説明できる。	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/25 (木) 6時限 15:00～15:50	綴学)	<p>6. 高齢者への歯の欠損への対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、有床義歯補綴学、よくわかる高齢者歯科学など）の確認</p> <p>・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 6 高齢者等に関連した歯科診療 イ 歯の欠損への対応</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 ウ 口腔機能向上に関する指導 a 口腔機能に応じた栄養指導 b 残存組織の変化とその対応 c 咬合の変化とその対応 d 機能低下とその対応 e 補綴装置の破損とその対応 カ 治療効果の評価</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/08/26 (金) 1時限 09:00～09:50	各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯による治療）	<p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の臨床操作・技工操作1 無歯顎患者の診断と治療ができるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の構成要素について説明できる。 3. 無歯顎患者の診察、検査、診断について説明できる。 4. 全部床義歯製作時の前処置について説明できる。 5. 全部床義歯の印象採得について説明できる。 6. 全部床義歯の個人トレーの製作について説明できる。 7. 全部床義歯の作業用模型の製作について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学第3／4版（医歯薬出版）の該当項目の確認</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 b 印象採得 a 個人トレーの製作、作業用模型の製作</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/08/26 (金) 2時限 10:00～10:50	各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯による治療）	<p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の臨床操作・技工操作2 無歯顎患者の診断と治療ができるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 3. 全部床義歯の咬合器装着・調整について説明できる。 4. 全部床義歯の人工歯の選択について説明できる。</p>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/26 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：無歯顎補綴治療学第3／4版 (医歯薬出版) の該当項目の確認</li> <li>・準備学修時間： 60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 咬合器装着・調節 c 人工歯の選択・排列・歯肉形成</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/08/26 (金) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ：全部床義歯の臨床操作・技工操作3 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 全部床義歯の人工歯排列について説明することが切れる。</li> <li>3. 全部床義歯の歯肉形成について説明できる。</li> <li>4. 全部床義歯の咬合様式について説明することができる。</li> <li>5. 全部床義歯の咬合平衡について説明することができる。</li> <li>6. 全部床義歯の咬合調整の理論を説明することができる。</li> <li>7. 全部床義歯のろう義歯の試適について説明できる。</li> <li>8. 発音機能の診査方法について説明することができる。</li> <li>9. 義歯の種類を目的により分類し、説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目とそれに要する時間数 無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題 2時間 事後学習項目とそれに用いる時間数 上記および配布プリント 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 人工歯の選択・排列・歯肉形成</p>	*鈴木 亜沙子
2022/08/26 (金) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ：全部床義歯装着後の管理 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の装着後の管理とその理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 全部床義歯装着時の診査項目を列挙し、説明することができる。</li> <li>3. 全部床義歯のリマウントの目的とその方法について述べるができる。</li> <li>4. 全部床義歯装着時の患者指導の項目を列挙し、説明することができる。</li> <li>5. 全部床義歯の短期的および長期的管理について説明することができる。</li> <li>6. 全部床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。</li> <li>7. 全部床義歯装着後の咬合の変化に対する対応について説明できる。</li> <li>8. 全部床義歯のラインおよびリベースについて説明できる。</li> <li>9. 全部床義歯の破損に対する対応について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目とそれに要する時間数 無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題 2時間 事後学習項目とそれに用いる時間数 上記および配布プリント 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p>	*鈴木 亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/26 (金) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	<p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 e 咬合調整 (削合) と仕上げ 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導 a セルフケア (ホームケア)、プロフェッショナルケア b 残存組織の変化とその対応 c 咬合の変化とその対応 d 機能低下とその対応 e 補綴装置の破損とその対応</p>	*鈴木 亜沙子
2022/08/26 (金) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳクラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 支台歯形成の目的と原則, 歯頸部辺縁形態の分類と適応, 支台歯形成の手順, 注意点を理解する。 支台築造の臨床的意義, 選択基準を理解する。 築造窩洞形成の原則と手順を理解する。 支台築造の種類と方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 支台歯形成の目的と原則, 歯頸部辺縁形態の分類と適応, 支台歯形成の手順, 注意点を説明できる。 3. 支台築造の臨床的意義, 選択基準を説明できる。 4. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 5. 支台築造の種類と方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 配布資料の復習 事後学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p>	*飯田 崇
2022/08/26 (金) 6時限 15:00～15:50	各論Ⅳクラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材, 印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を理解する。 プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を理解する。 仮着用セメントの種類と特徴を理解する。 口腔内情報を記録する意義について理解する。 色調の選択と伝達方法について理解する。 歯の位置と形態の記録法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 印象用器材, 印象法の種類と特徴を説明できる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5. プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 7. 仮着用セメントの種類と特徴を説明できる。 8. 口腔内情報を記録する意義について説明できる。 9. 色調の選択と伝達方法について説明できる。 10. 歯の位置と形態の記録法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 配布資料の復習 事後学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料</p>	*岩田 好弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/26 (金) 6時限 15:00～15:50	各論Ⅳクラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p>	*岩田 好弘
2022/08/27 (土) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、顎間関係の記録、下顎運動および咬合の概念を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. チェックバイトを説明できる。 3. 半調節性咬合器のプログラミングを説明できる。 4. ゴシックアーチ描記法を説明できる。 5. パントグラフ描記法と全調節性咬合器のプログラミングを説明できる。 6. 前方誘導要素と後方誘導要素の咬合面に及ぼす影響を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録</p>	*岩田 好弘
2022/08/27 (土) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うためにロストワックス法による技工操作を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業用模型の製作方法を説明できる。 3. 全部金属冠の製作方法を説明できる。 4. ブリッジのろう付け法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版、スタンダード歯科理工学第5版を参考に補綴装置の製作方法と材料について理解しておく。 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p>	*内堀 聡史
2022/08/27 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために歯冠補綴装置の装着方法、および術後管理について説明できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】</p>	*内堀 聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/27 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学）	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴装置の口腔内試適、調整方法について説明できる。 3. 歯冠補綴装置の仮着・合着について説明できる。 4. 歯冠補綴装置の術後管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学習時間：60分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 j 装着</p>	*内堀 聡史
2022/08/29 (月) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うためにレジン前装冠・陶材焼付冠について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. レジン前装冠・陶材焼付冠の製作方法を説明できる。 3. レジン前装冠・陶材焼付冠の特徴、適応症について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p>	*内堀 聡史
2022/08/29 (月) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 3. ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法を説明できる。 4. CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 5. CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 6. CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</p>	*飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/29 (月) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学）	3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作	*飯田 崇
2022/08/29 (月) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 歯科に関連する睡眠関連疾患に対応できるようになるために、睡眠時ブラキシズムと睡眠時無呼吸症候群を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 睡眠時ブラキシズムの特徴を説明できる。 3. 睡眠時ブラキシズムへの対応を説明できる。 4. 睡眠時無呼吸症候群の特徴を説明できる。 5. 睡眠時無呼吸症候群への対応を説明できる。 6. マウスガードによる歯・口腔の外傷予防について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ク 睡眠時無呼吸</p>	*飯田 崇
2022/08/29 (月) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 顎関節疾患と顎関節疾患に類似した疾患との鑑別および適切な治療方針の決定ができるようになるために、診断法および治療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎関節疾患の特徴が説明できる。 3. 顎関節疾患に類似した疾患を列挙できる。 4. 顎関節疾患の診断法を説明できる。 5. 顎関節疾患の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：メディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 1 顎関節症</p>	*飯田 崇
2022/08/29 (月) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅴ：高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 高齢者に対する歯科治療を円滑に行うために、管理に留意すべき全身疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 認知症の原因を説明できる。 3. 認知症の検査を説明できる。 4. 認知症への対応を説明できる。 5. Alzheimer病の病態を説明できる。 6. Parkinson病の病態と原因を説明できる。 7. Parkinson病への対応を説明できる。 8. 誤嚥性肺炎の病態を説明できる。 9. 誤嚥性肺炎への対応を説明できる。 10. オーラルディアドコキネシス等による高齢者の口腔機能評価について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：高齢者の管理に留意すべき全身疾患について理解する。 準備学修時間：1時間</p>	*飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/29 (月) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅴ：高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 疾患・病態 イ 認知障害 a 認知症</p>	*飯田 崇
2022/08/29 (月) 6時限 15:00～15:50	各論Ⅴ：高齢者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療；摂食嚥下障害（障害者歯科学）	<p>【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションが行えるようになるために、検査および対応について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 口腔機能の評価ができる 3. 摂食嚥下障害の検査ができる 4. 治療的アプローチについて説明できる 5. 代償的アプローチについて説明できる 6. 環境改善的アプローチについて説明できる 7. 心理的アプローチについて説明できる 8. 栄養療法について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：摂食嚥下障害に対する評価・検査方法および対応について予習をする。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：摂食嚥下障害に対する評価・検査方法および対応について予習をする。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライドおよび配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 摂食嚥下障害への対応（摂食機能療法） ア 治療的アプローチ a 間接訓練</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 摂食嚥下障害への対応（摂食機能療法） ア 治療的アプローチ b 直接訓練 イ 代償的アプローチ ウ 環境改善的アプローチ エ 心理的アプローチ オ 栄養療法 4 高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 イ 口腔機能の評価 a 口腔機能および摂食嚥下機能</p>	*林 佐智代
2022/08/30 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（口腔インプラント学）	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. シミュレーションソフトを画像検査法を説明できる。 3. ガイデッドサージェリーののためのCAD/CAMの応用について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 事後学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	*村上 洋 *玉木 大之 *北川 剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/30 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	<p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計</p>	*村上 洋 *玉木 大之 *北川 剛至
2022/08/30 (火) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. インプラント外科処置について説明できる。 3. インプラント外科処置における合併症について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 事後学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 a インプラント体埋入手術 (一次手術)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 b 二次手術</p>	*玉木 大之
2022/08/30 (火) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. インプラント治療の補綴処置について説明できる 3. インプラント治療に用いる器具器材について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 事後学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 エ 上部構造の製作 a セメント固定式上部構造の製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 c 印象採得</p>	*村上 洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/08/30 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2. シミュレーションソフトを用いた診断について説明できる。 3. CAD/CAMを利用したガイドドサージェリーについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOs ・準備学修時間：15 分 ・事後学修時間：30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p>	*北川 剛至 *村上 洋 *玉木 大之
2022/09/03 (土) 1時限 09:30～10:20	平常試験3	<p>【授業の一般目標】 (領域B:各論) ☆歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ☆高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療に関する学習効果を確認する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害について説明できる。 2. 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表を参照すること ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p>	*有川 量崇
2022/09/05 (月) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患 (臨床検査学)	<p>【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、造血器疾患の診断に必要な検査項目について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 白血病の分類を述べることができる。 3. 各種白血病の病態を述べることができる。 4. 各種白血病に関連する臨床検査を述べることができる。 5. 悪性リンパ腫の分類を述べることができる。 6. 悪性リンパ腫の病態を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次に配布講義ファイルの総論部分 基準値表 歯科医師国家試験出題基準 主な検査項目の表記 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	*福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/05 (月) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（臨床検査学）	<p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患            4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療            ケ 白血球系疾患            a 白血病</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患            4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療            ケ 白血球系疾患            c 悪性リンパ腫</p>	*福本 雅彦
2022/09/05 (月) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（臨床検査学）	<p>【授業の一般目標】            有病者の歯科治療を安全に行うために、出血性素因の診断に必要な検査項目について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。            2. 血液凝固機序を述べることができる。            3. 出血性素因を調べるための検査項目を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            事前学修項目：血小板の仕組みについて理解する。            事前学修時間：約30分            事後学修項目：出血性素因の検査項目を理解する。            事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            アクティブラーニングの有無：なし            学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（LS）】            講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】            400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患            4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療            サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p>	*小峯 千明
2022/09/05 (月) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（臨床検査学）	<p>【授業の一般目標】            有病者の歯科治療を安全に行うために、出血性素因をおこす疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。            2. IgA血管炎について説明できる。            3. Osler病について説明できる。            4. 特発性血小板減少性紫斑病について説明できる。            5. 血小板無力症について説明できる。            6. 血友病について説明できる。            7. 播種性血管内凝固症候群について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            事前学修項目：止血凝固の仕組みを理解する。            事前学修時間：約30分            事後学修項目：各疾患の検査所見・症状について理解する。            事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            アクティブラーニングの有無：なし            学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（LS）】            講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】            400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患            4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療            サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p>	*小峯 千明
2022/09/05 (月) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ：顎と口腔領域の疾患（臨床検査学）	<p>【授業の一般目標】            口腔領域に特徴的な症状を呈しかつ歯科治療に影響を及ぼす全身疾患、特に貧血について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。            2. 貧血の定義を述べるができる。            3. 貧血を調べるための検査項目を述べるができる。            4. 貧血の臨床症状と合併症を述べるができる。            5. 貧血に罹患している患者への歯科治療を行う際の留意点を述べるができる。</p>	*深津 晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/05 (月) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ：顎と口腔領域の疾患（臨床検査学）	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：生体内での糖の流れを理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：糖尿病の検査所見・症状について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 赤血球系疾患 a 貧血</p>	*深津 晶
2022/09/05 (月) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ：顎変形症（症候群を中心に）	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患について理解するために、様々な症候群について学習する。 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顔面の異常を伴う症候群について説明することができる。 2. 口腔・顔面の異常を示す代謝・内分泌疾患について説明することができる。 3. それぞれの症候群の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：これまでの授業内容 準備学修時間：2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 特になし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 a 先天異常・発育異常</p>	*大峰 浩隆
2022/09/06 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線）	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎口腔疾患の適切な画像検査法および画像診断ができるようになるために、各種疾患における特徴像を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎口腔疾患における最適な画像診断法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔領域の画像検査法の正しい選択と特徴について学ぶ。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：顎口腔疾患における最適な画像診断法を修得する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリントおよび教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯原性嚢胞 a 歯原性良性腫瘍 b 非歯原性良性腫瘍 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p>	*金田 隆 *村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/06 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線）	オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞 b 非歯原性嚢胞 a 歯原性良性腫瘍 b 歯原性悪性腫瘍 c 非歯原性良性腫瘍 d 非歯原性悪性腫瘍	*金田 隆 *村岡 宏隆
2022/09/06 (火) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科）	【授業の一般目標】 唾液腺に生ずる疾患を適切に治療するために、その特徴を理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ドライマウスについて述べられる。 3. Sjögren症候群とMikulicz病の特徴を述べられる。 4. 流行性耳下腺炎について述べられる。 5. 唾液腺良性腫瘍の特徴を述べられる。 6. 唾液腺悪性腫瘍の特徴を述べられる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：唾液腺の治療について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 e Sjögren症候群	*濱野 美緒
2022/09/06 (火) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科）	【授業の一般目標】 口腔粘膜ならびに前癌病変、主要類似疾患の診断と治療ができるようになるために、診断法、治療法について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔粘膜疾患とその類似疾患の診断、病態について述べるができる。 3. 舌炎、口唇炎および類似疾患の診断、病態について述べるができる。 4. 前癌病変の定義について説明することができる。 5. 白板症と紅板症の診断法、病態について説明することができる。 6. 前癌病変を説明し、その疾患名を挙げられる。 7. エプーリスの分類法と治療法について説明できる。 8. 顎骨の骨隆起と骨腫の鑑別診断と治療の必要性の有無について判定できる。 9. 線維性異形成症の病態と治療法について述べるができる。 10. Langerhans細胞組織球腫の分類、病態および診断法について述べるができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔粘膜ならびに前癌病変、主要類似疾患の診断について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 b 天疱瘡、類天疱瘡	*濱野 美緒
2022/09/06 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科）	【授業の一般目標】 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍を診断し、治療方針を決定できるようになるために、各歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の特徴を理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の特徴を述べるができる。 3. 各疾患のエックス線像の特徴を述べるができる。 4. 歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍を診断できる。 5. 歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の治療法について述べるができる。 6. 歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の予後について述べるができる。 7. 他の疾患（炎症性疾患・嚢胞性疾患）と鑑別診断を行うことができる。  【準備学修項目と準備学修時間】	*濱野 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/06 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学口腔の腫瘍について</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。</p> <p>・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍</p>	*濱野 美緒
2022/09/06 (火) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 神経疾患について理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 三叉神経痛について説明できる 2. 舌咽神経痛について説明できる 3. 非定型顔面痛・非歯原性歯痛について説明できる 4. 舌痛症について説明できる 5. 癌性疼痛について説明できる 6. 舌神経麻痺について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：三叉神経の解剖・舌咽神経の解剖 準備学修時間：30分 事後学修時間：配布資料確認15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経・運動器疾患の病態・診断・治療 a 三叉神経痛</p>	*濱野 美緒
2022/09/07 (水) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する嚢胞性疾患を診断し、治療方針を立てられるようになるために、その病態および特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞を分類し、その特徴を述べることができる。 3. 顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の鑑別診断をすることができる。 4. 顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の治療法を説明することができる。 5. 顎骨内に発生する嚢胞類似疾患を分類し、その特徴を説明できる。 6. 顎骨内に発生する嚢胞類似疾患の鑑別診断ができる。 7. 顎骨内に発生する嚢胞類似疾患の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学嚢胞性疾患について ・準備学修時間：60分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p>	*濱野 美緒
2022/09/07 (水) 2時限	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 軟組織内に発生する嚢胞性疾患の鑑別診断と処置ができるようになるために、</p>	*濱野 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:00～10:50	科)	<p>病態と特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>軟組織に発生する嚢胞を分類し、その特徴を説明できる。</li> <li>軟組織に発生する嚢胞の鑑別診断ができる。</li> <li>軟組織に発生する嚢胞の治療法を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学嚢胞性疾患について</li> <li>準備学修時間：60分</li> <li>事後学習項目：口腔の主要症候についての授業プリント、国家試験問題の確認する。</li> <li>事後学習時間：90分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p>	*濱野 美緒
2022/09/07 (水) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 適切な口腔外科治療を行うために、口腔領域の損傷の病態、適切な診断法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>顔面・口腔領域軟組織損傷の概念を説明し、適切な診断ができる。</li> <li>歯牙の脱臼、破折の適切な診断ができる。</li> <li>顎顔面骨折の特徴的な骨折様式を説明し、適切な診断ができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目；顎口腔領域の損傷の診断法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 c 下顎骨骨折</p>	*山本 泰
2022/09/07 (水) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 適切な口腔外科治療を行うために、口腔領域の損傷による合併症と治療法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>顎顔面骨折に対する各種処置法を説明し適切な治療方針を述べることができる。</li> <li>軟組織損傷の治療法を説明し、適切な対処法を述べるができる。</li> <li>合併症の診断法および治療法を説明し、適切な対処法を述べるができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目；顎口腔領域の損傷の治療法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 c 下顎骨骨折</p>	*山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/07 (水) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科）	<p>【授業の一般目標】 顎変形症について理解し、適切な治療方針の決定ができるように、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎変形症の特徴を説明できる。 3. 顎変形症の治療法について説明することができる。 4. 顎変形症治療における合併症、偶発症を説明し、適切な対処法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎変形症の治療法について教科書で予習すること。 事前準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 顎顔面の変形を来す疾患・病態・診断 a 顎変形症</p>	*山本 泰
2022/09/08 (木) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症、特に局所麻酔施行時に発症しやすい偶発症とその対応、予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. アナフィラキシーショックについて説明することができる。 3. アナフィラキシーショック発症時の対応について説明することができる。 4. 誤飲の対応について説明することができる。 5. 誤嚥の対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15. 歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。  学修媒体：授業スライドおよび講義中記載した内容。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 d アナフィラキシー {ショック}</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 a 血管迷走神経反射 b 過換気症候群 c 局所麻酔薬中毒 e 血管収縮薬による反応 f メトヘモグロビン血症 g 誤飲、誤嚥 h 皮下気腫 i 合併する全身疾患の増悪</p>	*鈴木 正敏
2022/09/08 (木) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科）	<p>【授業の一般目標】 適切な口腔がんの治療を行うために、病態、検査法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔癌の診断、TNM分類、病期分類ができる。 3. 舌癌の特徴を説明できる。 4. 歯肉癌の特徴を説明できる。 5. 上顎洞癌の特徴を説明できる。 6. 口腔癌の転移を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/08 (木) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>事前学修項目:口腔がんの治療を行うために、悪性腫瘍の病態と検査法について教科書を参考に予習する。 事前学修時間:60分 事後学修項目:講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 口腔癌</p>	*山本 泰
2022/09/08 (木) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 適切な口腔がんの治療を行うために、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 悪性腫瘍の治療法を選択できる。 3. 原発巣の手術療法を説明できる。 4. 頸部郭清術を説明できる。 5. 化学療法を説明できる。 6. 放射線療法を説明できる。 7. 緩和ケアを説明できる。 8. 周術期管理を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:口腔がんの治療を行うために、悪性腫瘍の治療法について教科書で予習すること。 事前学修時間:60分 事後学修項目:講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 b 外科療法</p>	*山本 泰
2022/09/08 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 唇顎口蓋裂を適切に診断、治療するために、病態、検査法、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口唇・口蓋裂の病態について説明することができる。 3. 口唇・口蓋裂の治療計画について説明することができる。 4. 鼻咽腔閉鎖不全について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:唇顎口蓋裂・鼻咽腔閉鎖不全の診断、検査について教科書で予習すること。 準備学修時間:60分 事後学修項目:講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学修時間:90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 b 口唇裂・口蓋裂</p>	*山本 泰
2022/09/08 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 唇顎口蓋裂を適切に診断、治療するために、病態、検査法、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】</p>	*山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/08 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科)	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口唇・口蓋裂の治療法について説明することができる。 3. 鼻咽腔閉鎖不全の治療法について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：唇顎口蓋裂・鼻咽腔閉鎖不全の治療法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 b 口唇裂・口蓋裂</p>	*山本 泰
2022/09/09 (金) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅴ：配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 安全に歯科治療を行うために、注意すべき肝疾患、腎疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 肝炎について説明することができる。 3. 肝炎患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 4. 腎疾患患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 5. 血液透析について説明することができる。 6. 血液透析患者の歯科治療上注意点について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 2 治療の基礎 エ 全身管理に留意すべき疾患 f 腎疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 2 治療の基礎 エ 全身管理に留意すべき疾患 d 消化器疾患 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 c 消化器疾患 e 泌尿器・生殖器疾患</p>	*鈴木 正敏
2022/09/09 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科）	<p>【授業の一般目標】 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全身管理に留意する全身疾患・状態を説明できる。 2. 肉芽腫性炎（特異性炎）の種類を述べられる。 3. 顎放線菌症の診断・病態・治療法について述べられる。 4. 口腔結核の診断・病態・治療法について述べられる。 5. 梅毒の診断・病態・治療法について述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：全身疾患に関連する疾患の病態・診断・治療について教科書および参考書を熟読する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業プリント、教科書、参考書、国家試験問題の確認をする。 ・事後学修時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p>	*飯塚 普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/09 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 c 消化器疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 f 肉芽腫性炎</p>	*飯塚 普子
2022/09/09 (金) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に関連する炎症の病態・診断・治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 軟組織の炎症の病態・診断・治療について述べられる。 2. 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療について述べられる。 3. 菌性全身感染症の種類・原因・病態を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎口腔領域に関連する炎症の病態・診断・治療について教科書および参考書を熟読する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業プリント、教科書、参考書、国家試験問題の確認をする。 ・事後学修時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 c 顎骨骨髓炎</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 a 歯冠周囲炎 (智歯周囲炎) b 口腔・頸部軟組織の炎症 c 所属リンパ節 (領域リンパ節) の炎症 d 菌性上顎洞炎 e 菌性全身感染症 f 肉芽腫性炎</p>	*飯塚 普子
2022/09/10 (土) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患 (放射線)	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、頭頸部領域に発生する外傷と炎症の画像所見について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 頭頸部領域に発生する外傷と炎症の画像所見について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：外傷と炎症について理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：外傷と炎症の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p>	*村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/10 (土) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線）	<p>2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 a 歯の亀裂・破折・脱臼</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 a 歯の亀裂・破折・脱臼 b 歯槽骨骨折 c 下顎骨骨折 d 上顎骨骨折 c 顎骨骨髓炎 d 歯性上顎洞炎 e 放射線（性）骨壊死、放射線骨髄炎 f 薬剤関連顎骨疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 b 口腔・頸部軟組織の炎症</p>	*村岡 宏隆
2022/09/10 (土) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線）	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞・腫瘍を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：嚢胞・腫瘍の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 b 非歯原性嚢胞 a 歯原性良性腫瘍 b 歯原性悪性腫瘍 c 非歯原性良性腫瘍 d 非歯原性悪性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維骨性病変</p>	*村岡 宏隆
2022/09/10 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線）	<p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞・腫瘍を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：嚢胞・腫瘍の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p>	*村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/10 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線）	<p>1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療</p> <p>a 歯原性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療</p> <p>b 非歯原性嚢胞</p> <p>a 歯原性良性腫瘍</p> <p>b 非歯原性良性腫瘍</p> <p>c 口腔癌</p> <p>e 上顎洞癌</p> <p>h 悪性リンパ腫</p> <p>i 悪性黒色腫</p>	*村岡 宏隆
2022/09/12 (月) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ 4 全身管理に留意すべき疾患・内分泌疾患（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 生体機能検査のうち呼吸機能検査について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づいて以下を教授する。</li> <li>糖尿病の病態について説明することができる。</li> <li>糖尿病患者の歯科治療上の注意点を説明することができる。</li> <li>甲状腺機能異常について説明することができる。</li> <li>甲状腺機能異常患者の歯科治療上の注意点を説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学で学修しておく。</li> <li>事前学修時間：30分。</li> <li>事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。</li> <li>事後学修時間：60分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブラーニング：無し。</li> <li>学修媒体：配付資料。</li> </ul> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態</p> <p>h 内分泌疾患</p>	*竹森 真実
2022/09/12 (月) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 全身疾患（高血圧症および虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>高血圧症の病態、全身管理（救急処置を含む）について説明することができる。</li> <li>虚血性心疾患について説明することができる。</li> <li>狭心症の病態について説明することができる。</li> <li>狭心症発症時の対応について説明することができる。</li> <li>心筋梗塞の病態について説明することができる。</li> <li>心筋梗塞発症時の対応について説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4.管理上問題となる疾患」について学修しておく。</li> <li>事前学修時間：30分。</li> <li>事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。</li> <li>事後学修時間：60分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブラーニング：無し。</li> <li>学修媒体：配付資料。</li> </ul> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態</p> <p>b 循環器・脳血管疾患</p>	*竹森 真実
2022/09/12 (月) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 全身疾患（不整脈—その1—）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>心電図検査について説明することができる。</li> </ol>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/12 (月) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学）	<p>3. 上室性不整脈について説明することができる。 4. 心室性不整脈について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患</p>	*下坂 典立
2022/09/12 (月) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学）	<p>【授業の一般目標】 全身疾患（不整脈-その2-）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 除細動について説明することができる。 3. 除細動すべき不整脈について説明することができる。 4. 房室ブロックについて説明することができる。 5. 心臓ペースメーカが必要な不整脈について説明することができる。 6. 脚ブロックについて説明することができる。 7. 抗不整脈薬の使用について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患</p>	*下坂 典立
2022/09/12 (月) 5時限 14:00～14:50	老論Ⅶ：治療（歯科麻酔学）、ペインクリニック。	<p>【授業の一般目標】 疼痛管理、感覚異常疾患治療を適切に行うために、管理方法の実際、神経ブロック療法、理学療法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎顔面領域の疼痛疾患について説明することができる。 3. 顎顔面領域の感覚異常疾患・症状について説明することができる。 4. 痛みの悪循環について説明することができる。 5. 星状神経節ブロックについて説明することができる。 6. 星状神経節ブロックの適応疾患について説明することができる。 7. 星状神経節ブロックの生理的反応について説明することができる。 8. 星状神経節ブロックの合併症について説明することができる。 9. 理学療法について説明することができる。 10. 光線療法について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「14. ペインクリニック（疼痛治療）」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/12 (月) 5時限 14:00～14:50	老論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 ペインクリニック。	【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経・運動器疾患の病態・診断・治療 c 顔面神経麻痺	*下坂 典立
2022/09/16 (金) 1時限 09:30～10:35	平常試験4	【授業の一般目標】 (領域B：各論) ☆顎・口腔領域の疾患 ☆高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 に関する学習効果を確認する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 顎・口腔領域の疾患について説明できる。 2. 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表 を参照すること  ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし	*有川 量崇
2022/09/22 (木) 1時限 09:00～09:50	必修4：人体の正 常構造・機能 (生 化学)	【授業の一般目標】 全身・口腔の必修レベルの内容を再確認することにより知識を統合する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 生体構成成分の構造・機能を説明できる。 2. ゲノム、遺伝子、染色体を説明できる。 3. 細胞・細胞小器官の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題別講義プリントを見直し曖昧な点を押さえておくこと。 事前学修時間：120分 事後学修項目：課題別講義プリントと各種試験問題の再確認。 事後学修時間：180分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：無 (すでに配布してるプリント)  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分	平塚 浩一 竹内 麗理
2022/09/22 (木) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅱ：正常構造 と機能、発生、成 長、発達、加齢 (生化学)	【授業の一般目標】 全身・口腔の必修レベルの内容を再確認することにより知識を統合する。  【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕の成り立ちが説明できる。 2. 炎症が説明できる。 3. 細胞外基質が説明できる。 4. 骨リモデリングが説明できる。 5. 歯の成分が説明できる。 6. 唾液の成分とその機能が説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題別講義プリントを見直し曖昧な点を押さえておくこと。 事前学修時間：120分 事後学修項目：課題別講義プリントと各種試験問題の再確認。 事後学修時間：180分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：無 (すでに配布してるプリント)  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室	平塚 浩一 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/22 (木) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(生化学)	<p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p>	平塚 浩一 竹内 麗理
2022/09/22 (木) 3時限 11:00～11:50	必修4 人体の正常構造・機能(組織・発生学)	<p>【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、器官を構成する4大組織について学修する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 上皮組織について説明できる。 2. 支持組織について説明できる。 3. 筋組織について説明できる。 4. 神経組織について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：配布プリントの確認 ・準備学修時間：120分 ・事後学修項目：講義内容の復習 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織[上皮組織、結合(支持)組織(血液を含む)、筋組織、神経組織]</p>	玉村 亮
2022/09/22 (木) 4時限 13:00～13:50	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化(組織・発生学)	<p>【授業の一般目標】 口腔の構造を理解するために、構成する細胞・組織についての基本的知識を学修する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯の構造について説明できる。 2. 歯周組織の構造について説明できる。 3. 唾液腺の構造について説明できる。 4. 舌・扁桃の構造について説明できる。 5. 口腔組織の加齢変化について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：配布資料の確認 ・準備学修時間：120分 ・事後学修項目：講義内容の復習 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p>	玉村 亮
2022/09/24 (土) 1時限 09:00～09:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(解剖学)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造に関する基本的な知識を習得することにより、筋の付着を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頭蓋冠の構造を説明できる。 2. 頭蓋底の構造を説明できる。 3. 咀嚼筋の構造を説明できる。 4. 舌骨筋群の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：課題別講義を復習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：講義内容を再確認する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 課題別で配付した資料必須</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/24 (土) 1時限 09:00～09:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学)	<p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋の全容</p>	松野 昌展
2022/09/24 (土) 2時限 10:00～10:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学)	<p>【授業の一般目標】 頭頸部の内臓の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔の構造を説明できる。 2. 舌の構造を説明できる。 3. 唾液腺の構造を説明できる。 4. 咽頭の構造を説明できる。 5. 喉頭の構造を説明できる。 6. 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：頭頸部の内臓を復習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：講義内容を再確認する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔</p>	松野 昌展
2022/09/24 (土) 3時限 11:00～11:50	総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学)	<p>【授業の一般目標】 頭頸部を局所解剖的に理解することにより神経、血管の分布を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脳神経の分布を説明できる。 2. 頭頸部の脈管、リンパの分布を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：課題別講義を復習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：講義内容を再確認する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 課題別で配付した資料必須</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p>	松野 昌展
2022/09/26 (月) 1時限 09:00～09:50	必修7・総論Ⅲ：炎症、退行性病変、進行性病変、循環障害 (病理学)	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症、退行性病変、進行性病変及び循環障害に関する病理学的知識について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. *以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて教授されるものである。 2. 炎症の5徴候と病理学的意義について説明できる。 3. 炎症の病因・病態について述べる事ができる。 4. 炎症の経過と病理組織学的分類 (各型分類) と病態について解説できる。 5. アレルギー、自己免疫疾患及び膠原病の分類と病理学的特徴について解説できる。 6. 萎縮、変性及び壊死・アポトーシスの病理学的特徴について説明できる。 7. 循環障害の病理学で特徴を説明できる。 8. 再生・修復、増生及び化生について解説できる。 9. 創傷治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・課題別講義の資料 準備学修時間：60分</p>	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/26 (月) 1時限 09:00～09:50	必修7・総論Ⅲ： 炎症、退行性病変、 進行性病変、循環 障害（病理学）	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア、ライブ・オンデマンド配信システム</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 c 細胞・組織の損傷と修復</p>	*宇都宮 忠彦
2022/09/26 (月) 2時限 10:00～10:50	必修7・総論Ⅲ： 腫瘍・嚢胞・先天 異常（病理学）	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、腫瘍、嚢胞及び先天異常の病理学的知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. *以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて教授されるものである。 2. 腫瘍の定義について述べることができる。 3. 腫瘍の病理組織学的分類について説明できる。 4. 腫瘍発生の諸段階と転移について説明できる。 5. 口腔・顎・顔面領域に後発する代表的な腫瘍の病理学的特徴について解説できる。 6. 嚢胞の定義と分類について説明できる。 7. 嚢胞の病理組織学的特徴について解説できる。 8. 腫瘍及び嚢胞に関連する先天異常について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・課題別講義の資料 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア、ライブ・オンデマンド配信システム</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍・腫瘍類似疾患</p>	*宇都宮 忠彦
2022/09/26 (月) 3時限 11:00～11:50	必修9：病理検査	<p>【授業の一般目標】 安全・正確な歯科臨床を実施するために、病理検査の意義、目的、種類、方法及び疾患との関係について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. *以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて教授されるものである。 2. 病理検査の意義・目的を挙げることができる。 3. 細胞診の種類と方法について説明できる。 4. 細胞診が適用される代表的疾患の病理学的特徴について説明できる。 5. 組織診の種類と方法について説明できる。 6. 組織診が適用される代表的疾患の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： ・課題別講義の資料 ・歯科医学総合講義6口腔外科臨床実地「病理学のみとめ」の資料 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア、ライブ・オンデマンド配信システム</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 a 細胞診</p>	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/26 (月) 3時限 11:00～11:50	必修9：病理検査	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 b 組織診</p>	*宇都宮 忠彦
2022/09/26 (月) 4時限 13:00～13:50	必修4：人体の正常構造・機能（微生物・免疫学）	<p>【授業の一般目標】 口腔領域における宿主と微生物との関わりを理解するために、生体防御機構について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液、歯肉溝滲出液の抗菌物質を説明できる。 3. 口腔領域における免疫応答について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの配布プリントの再確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容について総復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 g 免疫系（免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 3 免疫 エ 自然免疫 a 微生物の認識機構 b 微生物の排除機構 a 体液性免疫 b 細胞性免疫</p>	*齋藤 真規 栗原 紀子
2022/09/26 (月) 5時限 14:00～14:50	必修4：人体の正常構造・機能（微生物・免疫学）	<p>【授業の一般目標】 全身・口腔の常在微生物叢を理解するために、構成する微生物の特徴を学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 人体の常在微生物叢を説明できる。 2. 微生物の構造、性状について説明できる。 3. 感染症の種類と起因する病原体を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：配布プリントの再確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容を復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 b 常在微生物叢</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 c ブラク（口腔バイオフィルム） 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 キ 感染症 a 病原微生物 b 感染症</p>	栗原 紀子 *齋藤 真規
2022/09/27 (火) 1時限 09:00～09:50	必修5：人体の正常構造・機能（生理学）	<p>【授業の一般目標】 人体の機能を理解するために、循環、呼吸、自律神経、内分泌を学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 血圧調節を説明できる。</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/27 (火) 1時限 09:00～09:50	必修5：人体の正常構造・機能（生理学）	<p>2. 機能中枢を説明できる。 3. 呼吸によるガス分圧調節を説明できる。 4. ホルモン分泌臓器と作用機序を説明できる。 5. 自律神経による機能調節を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各臓器の機能について復習しておく。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：循環および呼吸の異常による疾病と症状をまとめる。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系〔骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系〕</p>	吉垣 純子
2022/09/27 (火) 2時限 10:00～10:50	必修5：人体の正常構造・機能（生理学）	<p>【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために、口腔感覚、顎反射、唾液、嚥下を学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔感覚の特徴を説明できる。 2. 顎反射の成立機構を説明できる。 3. 唾液分泌機構を説明できる。 4. 嚥下機構を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：神経伝導路について復習しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：口腔感覚の伝導路および顎反射の反射弓をまとめる。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系〔骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系〕</p>	吉垣 純子
2022/09/27 (火) 3時限 11:00～11:50	必修11：治療の基礎・基本手技（歯科理工学）	<p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その基礎的な性質を学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 生体材料の力学的、物理的および化学的性質について説明できる。 2. 生体材料の生物学的性質および生体安全性について説明できる。 3. 切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。 4. 印象材の種類、組成および性質について説明できる。 5. 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 6. 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。 7. 成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。 8. 予防歯科材料の種類、組成および性質について説明できる。 9. 歯内療法関連材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項、歯科材料・機器）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器</p>	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/27 (火) 3時限 11:00～11:50	必修1 1 : 治療の基礎・基本手技 (歯科理工学)	<p>a 基本的性質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 b 診療用器械、切削・研削工具・研磨材 c 印象用材料・機器 d 模型用材料、ワックス e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料</p>	谷本 安浩
2022/09/27 (火) 4時限 13:00～13:50	必修1 1 : 治療の基礎・基本手技 (歯科理工学)	<p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その基礎的な性質を学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。 2. 義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。 3. 義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。 4. 歯科精密鑄造の原理と鑄造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。 5. 歯科用CAD/CAMシステムの特徴について説明できる。 6. 歯科接着技術における歯質、金属およびセラミックスの被着面処理法について説明できる。 7. 歯科矯正用材料の種類、組成および性質について説明できる。 8. 歯科インプラント用材料および骨補填材料の種類、組成および性質について説明できる。 9. 組織工学用膜材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項、歯科材料・機器）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 f 歯冠修復・義歯用材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 g 成形技術・機器 h 装着用材料、接着処理 i 歯科矯正用材料 j 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料</p>	谷本 安浩
2022/09/28 (水) 1時限 09:00～09:50	必修3 : 予防と健康管理・増進 (衛生学)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として、高齢社会における歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な地域保健、地域医療の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 地域保健活動を説明できる。 2. 医療計画、健康増進計画を説明できる。 3. 健康増進と疾病予防を説明できる。 4. 地域保健にかかる法規と制度を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/28 (水) 1時限 09:00～09:50	必修3：予防と健康管理・増進（衛生学）	必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 d 国民健康づくり対策 e メタボリックシンドローム対策 f 歯科口腔保健の推進に関する基本的事項 イ 地域保健にかかる法規と制度 b 母子保健 c 学校保健 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 オ 地域の保健・医療 b 医療計画、健康増進計画 d プライマリヘルスケア	田口 千恵子
2022/09/28 (水) 2時限 10:00～10:50	必修3：予防と健康管理・増進（衛生学）	【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な予防と健康管理の知識を修得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 公衆衛生活動・地域保健活動について説明できる。 2. 地域保健活動の進め方について説明できる。 3. 都道府県、市町村、保健所の歯科保健業務について説明できる。 4. 予防手段について説明できる。 5. 口腔健康管理について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 エ 成人保健、成人歯科保健 d 成人歯科保健活動  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 オ 地域の保健・医療 a 公衆衛生活動、地域保健活動 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a プライマリヘルスケア b ヘルスプロモーション	田口 千恵子
2022/09/28 (水) 3時限 11:00～11:50	必修11：治療の基礎・基本手技（薬理学） 総論 VII：治療（薬理学）	【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために、薬物療法の基本的事項に関する知識を修得する。  【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の作用部位・作用機序を説明できる。 2. 薬物動態を説明できる。 3. 薬物相互作用を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬理学に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/09/28 (水) 3時限 11:00～11:50	必修11:治療の基礎・基本手技(薬理学),総論VII:治療(薬理学)	<p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策 e 薬物適用の注意 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用(薬力学、主作用および副作用を含む)</p>	松本 裕子
2022/09/28 (水) 4時限 13:00～13:50	必修11:治療の基礎・基本手技(薬理学),総論VII:治療(薬理学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>治療の基礎を理解するために、薬物療法の基本的事項に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1.薬物の作用部位・作用機序を説明できる。 2.薬物動態を説明できる。 3.薬物相互作用を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目:薬理学に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。</li> <li>・事前学修時間:30分</li> <li>・事後学修項目:授業時配布プリントの内容確認と整理。</li> <li>・事後学修時間:60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング:無</li> <li>・学修媒体:マルチメディア,プリント配布</li> </ul> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 イ 用法・用量 e 薬物適用の注意</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効 c 薬物動態 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用(薬力学、主作用および副作用を含む)</p>	松本 裕子
2022/10/03 (月) 1時限 09:30～10:10	平常試験5	<p>【授業の一般目標】</p> <p>〈必修,領域A:総論〉 ☆必修の基本的事項 ☆歯科医学総論I～VIII に関する学習効果を確認する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1.必修の基本的事項について説明できる。 2.歯科医学総論I～VIIIの各項目について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目:講義ノート,講義配布資料,教科書,実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程,領域別出題数表を参照すること</li> <li>・準備学修時間:十分な準備学修時間をとること</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>その他 該当なし</p>	*有川 量崇
2022/10/05 (水) 1時限 09:00～09:50	各論II:歯・歯髄・歯周組織の疾患(歯内療法学:臨床)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療できるようになるために、歯髄・根尖歯周疾患の原因・病態・症候を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p>	*渡邊 昂洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/05 (水) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実)	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯髄・根尖歯周疾患の症候の変化を説明できる。 3. 歯髄・根尖歯周疾患の主訴を説明できる。 4. 歯髄・根尖歯周疾患の検査の意図を説明できる。 5. 歯髄・根尖歯周疾患の検査を選択できる。 6. 歯髄・根尖歯周疾患の診断プロセスを説明できる。 7. 歯髄・根尖歯周疾患の処置方針を説明できる。 8. 鑑別診断を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法全般 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 媒体 パワーポイント、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p>	*渡邊 昂洋
2022/10/05 (水) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実)	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、歯内療法 の原則、処置法、用いる器具・材料、高齢者に対する配慮、外傷歯の病態と治 療について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内療法の治療の原則を説明できる。 3. 歯髄・根尖性歯周疾患の処置を選択できる。 4. 歯内療法の器具、材料を選択できる。 5. 歯内療法における高齢者に対する配慮を説明できる。 6. 外傷歯の病態と治療を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。  歯周組織の構造を説明できる。 準備学習時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイント、プリント アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p>	*岡部 達
2022/10/05 (水) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実)	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、 再根管治療、歯内一歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその 予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根未完成歯の歯内療法を説明できる。 3. 再根管治療を説明できる。 4. 歯内一歯周疾患の治療を説明できる。 5. 内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。 6. 外科的歯内療法を説明できる。 7. 歯内療法処置の偶発症とその予防を説明できる。 8. 顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 パワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論</p>	*神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/05 (水) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実)	各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置	*神尾 直人
2022/10/05 (水) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (小児歯科学)	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の齲蝕予防、 歯冠修復について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の齲蝕予防について説明できる。 3. 小児の歯冠修復について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の齲蝕と進行抑制、小児の歯冠修復の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし  学修媒体：PC、プリント配布  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織疾患 b 齲蝕への対応	*伊藤 龍朗
2022/10/05 (水) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (小児歯科学)	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯内療法、 歯周疾患について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯内療法について説明できる。 3. 小児の歯周疾患について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の歯内療法、小児の歯周疾患の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし  学修媒体：PC、プリント配布  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 歯髄疾患  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 b 歯髄疾患への対応 c 根尖性歯周疾患 d 根尖性歯周疾患への対応 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応	*伊藤 龍朗
2022/10/06 (木) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学)	【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために、歯周病の診査・診断・治療計画および歯周基本 治療の内容・目的について理解する。	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/06 (木) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する</li> <li>2. 歯周病の分類と特徴について説明することができる。</li> <li>3. 歯周病の治療計画について説明することができる。</li> <li>4. 歯周基本治療の内容について説明できる。</li> <li>5. 歯周治療におけるメインテナンスおよびSPTについて説明できる。</li> <li>6. 咬合性外傷の診断・治療法について説明できる。</li> <li>7. 歯内歯周病変の診断・治療法について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖、歯周疾患の病因と病態、歯周基本治療。40分 事後学習項目：診断結果と歯周基本治療の選択。60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し、パワーポイントで講義を行う。 後日、必要に応じて電子媒体で配布する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 g 根分岐部病変の治療</p>	*中山 洋平
2022/10/06 (木) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために、根分岐部病変の治療および歯周外科治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 根分岐部病変の分類に対する治療方法について説明できる。</li> <li>3. 歯周ポケット搔爬術について説明できる。</li> <li>4. 新付着術 (ENAP) について説明できる。</li> <li>5. 歯肉切除術について説明できる。</li> <li>6. 歯肉剥離搔爬術について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖。切除療法および組織付着療法の種類を列挙し、それぞれの適応症と術式を説明できる。根分岐部病変を分類し、適応する術式を説明できる。60分。 事後学習項目：切除療法、組織付着療法の適応症を理解し、術式を選択できる。手技、使用器具についても理解を深める。60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し、パワーポイントで講義を行う。 後日、必要に応じて電子媒体で配布する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)</p>	*中山 洋平
2022/10/06 (木) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために、歯周組織再生療法および歯周形成手術の治療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。</li> <li>2. 再生の3原則に基づいて、歯周組織再生療法の種類を説明できる。</li> <li>3. 骨移植術について説明できる。</li> <li>4. 組織再生誘導法 (GTR法) について説明できる。</li> <li>5. エナメルマトリックスタンパク質を用いた再生療法について説明できる。</li> <li>6. 塩基性線維芽細胞成長因子を用いた再生療法について説明できる。</li> <li>7. 歯周形成手術について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖、再生の3原則、骨再生の3要素を理解し、歯周組織再生治療の適応症と術式。歯周形成手術の適応症と術式を列挙できる。60分。 事後学習項目：歯周組織再生療法の適応症を理解し、術式を選択できる。手技、使用器具についても理解を深める。歯周形成手術の術式を選択できる。60分。</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/06 (木) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し、パワーポイントで講義を行う。 後日、必要に応じて電子媒体で配布する。</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療（歯周形成手術）</p>	*中山 洋平
2022/10/06 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅱ：成長発育 に関連した疾患・ 病態（小児歯科） 各論Ⅳ：顎・口腔 領域の疾患	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の外傷、乳 歯の抜歯、口腔粘膜疾患、咬合誘導について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯の外傷について説明できる。 3.小児の抜歯について説明できる。 4.小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 5.小児の咬合誘導について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の外傷と粘膜疾患について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：P C、配布資料</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 4 小児の歯・口腔・顎の外傷 ア 歯の外傷の病態・診断・治療 a 乳歯</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 4 小児の歯・口腔・顎の外傷 イ 口腔粘膜外傷の病態・診断・治療 オ 歯の外傷の予防 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 a 小児の治療 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 イ 口腔軟組織の疾患 a 萌出嚢胞 b 幼児の歯肉嚢胞 c Bednarアフタ d 小帯異常 e Riga-Fede病 10 不正咬合の治療 ア 不正咬合の予防 a 予防矯正、保隙（静的咬合誘導）</p>	*清水 邦彦
2022/10/06 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳ：顎・口腔 領域の疾患（小児 歯科） 各論Ⅱ：成長発育 に関連した疾患・ 病態	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の形成障害お よび小児疾患・症候群について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の形成障害について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯の形成障害について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：P C、配布資料</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p>	*伊藤 龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/06 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳ：顎・口腔領域の疾患（小児歯科） 各論Ⅱ：成長発育に関連した疾患・病態	<p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ウ 構造の異常 b エナメル質形成不全{症}</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 イ 遺伝性疾患（主に口腔に症状がみられる） a Beckwith-Wiedemann症候群 c Papillon-Lefèvre症候群 d 骨形成不全症 e 先天性外胚葉形成不全（先天性外胚葉異形成症） f 低ホスファターゼ症 a Crouzon症候群 b Treacher Collins症候群 c 鎖骨頭蓋骨異形成症（鎖骨頭蓋異骨症） 2 歯の異常 イ 形態の異常 a 癒合歯、癒着歯、双生歯 b 中心結節、切歯結節</p>	*伊藤 龍朗
2022/10/07 (金) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学臨床実地）： Tooth wear（歯の損耗）、変色歯、破折	<p>【授業の一般目標】 Tooth wear、歯の変色および破折により生じた歯の欠損や審美障害を解決するために、行うべき検査、診断、治療方針の立案と処置法に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. Tooth wearに対する鑑別診断ができる。 3. Tooth wearに対する適切な治療方針が立案できる。 4. 変色歯の鑑別診断ができる。 5. 変色歯の原因や程度から適切な処置方針を立案できる。 6. 外傷歯の診断に必要な検査法を選択できる。 7. 外傷歯に対する適切な治療方針を立案できる。 8. 歯の完全破折と不完全破折の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：8月22日各論講義分の配布資料を復習しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 c tooth wear（歯の損耗）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 e 歯の変色・着色 f 歯の亀裂・破折 d 象牙質知覚過敏症 c フッ化物応用</p>	*平山 聡司
2022/10/07 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学臨床実地）： 間接修復法	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対して適切な間接修復処置が行えるようになるために、適切な検査、診断、治療方針の立案、術式、使用器具および術後管理について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 間接修復法の選択基準について説明できる。 3. 各種間接修復法の臨床術式について説明できる。 4. 間接修復法の修復物装着に必要な処理材について説明できる。 5. 間接修復法における補修復の手順と必要材料について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：8月22日に講義した配布資料の内容を復習しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/07 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患（保存修 復学臨床実地）： 間接修復法	アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 間接修復法  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 象牙質・歯髄保護法 a 齶蝕の病因 c 窩洞形成法	*平山 聡司
2022/10/07 (金) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患（保存修 復学臨床実地）： 接着修復と前準備	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対して適切な接着修復を行うために、適切な検査、診断、治療方針の立案、術式、使用器具および術後管理について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の欠損状態に応じた接着修復法を選択できる。 3. 齶蝕の除去法とそれに用いる器具器材について説明できる。 4. 接着修復処置に必要な前準備とその器具について説明できる。 5. 接着修復法の臨床術式を説明できる。 6. 異種材料に対する接着前処理と必要な器材について説明できる。 7. 修復操作中に生じた偶発症とその対処法について説明できる。 8. 修復処置後に生じる臨床的問題点の原因とその対処法について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：8月22日の講義で配布した資料を復習しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 400教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 直接修復法  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 補修修復 a 齶蝕の病因 b 根面齶蝕への対応	*平山 聡司
2022/10/07 (金) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅰ：成長発育 に関連した疾患・ 病態（歯科矯正学）	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、治療計画の立案に必要な情報を収集し整理・統合できるように学修する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔内写真から得られる所見を述べることができる。 3. エックス線写真から得られる所見を述べることができる。 4. 診断用口腔模型から得られる所見を述べることができる。 5. 軟組織診査から得られる所見を述べることができる。 6. 機能検査から得られる所見を述べることができる。 7. 得られた情報から不正咬合の特徴を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版  【学修方略（LS）】	*五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/07 (金) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合の診断 ウ 診断	*五関 たけみ
2022/10/07 (金) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	【授業の一般目標】 適切な乳歯・混合歯列期の矯正治療を行うために、顎顔面形態の特徴、診断、治療開始時期および治療法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳歯混合歯列期の治療目標を述べることができる。 3. 乳歯混合歯列期に用いる矯正装置を説明できる。 4. 乳歯混合歯列期の治療計画を立案できる。 5. 早期治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期の矯正治療、混合歯列期の矯正治療について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 a 動的咬合誘導	*五関 たけみ
2022/10/08 (土) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	【授業の一般目標】 永久歯列期の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 治療目標の設定ができる。 3. 抜歯部位の選択ができる。 4. 矯正治療中の管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：永久歯列期の矯正治療について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療	*五関 たけみ
2022/10/08 (土) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	【授業の一般目標】 口唇裂・口蓋裂や顎変形症の矯正歯科治療を適切に行うために必要な知識、診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 外科矯正治療における術前矯正治療の目的を説明できる。 3. 適切な外科手術法を選択できる。 4. 唇顎口蓋裂患者の特徴を説明できる。 5. 唇顎口蓋裂患者の歯科矯正治療の流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療、顎変形症の矯正歯科治療について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。	*榎本 豊

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/08 (土) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料、教科書（歯科矯正学第5版：p 336-352） 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 オ 顎変形症の治療	*榎本 豊
2022/10/08 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学）	【授業の一般目標】 永久歯列期の治療に必要な知識、診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 永久歯列期の治療について説明できる。 3. 抜歯非抜歯の判定について説明できる。 4. 外科的矯正治療の流れについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療、顎変形症の矯正歯科治療について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料、教科書（歯科矯正学第5版：p 336-352） 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長・発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療	*石井 かおり
2022/10/12 (水) 1時限 09:30～11:10	平常試験6	【授業の一般目標】 〈領域B：臨床実地〉 ☆成長発育に関連した疾患・病態 ☆歯・歯髄・歯周組織の疾患 に関する学習効果を確認する。 【行動目標（SBOs）】 1. 成長発育に関連した疾患・病態について説明できる。 2. 歯・歯髄・歯周組織の疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表を参照すること ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	*有川 量崇
2022/10/13 (木) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（病態および診察、検査、診断：有床義歯補綴学）	【授業の一般目標】 テーマ：歯列欠損患者・無歯顎患者に対する診察・検査と評価1 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施するために、必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の咬合・咀嚼障害について説明できる。 3. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の発語障害（発話機能障害）について説明できる。 4. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の心理社会的障害について説明できる。 5. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する形態的・審美的評価について説明できる。 6. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する機能的評価について説明できる。	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/13 (木) 1時限 09:00~09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (病態および診察、検査、診断 : 有床義歯補綴学)	<p>7. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する力学的評価について説明できる。</p> <p>8. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する身体社会的・心理的評価について説明できる。</p> <p>9. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する栄養評価について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目 : 参考図書 (無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認</li> <li>・準備学修時間 : 60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ウ 発話障害 (発話機能障害) オ 心理社会的障害 2 診察、検査、診断 ア 診察 a 形態的・審美的評価 b 機能的評価 c 力学的評価 d 身体社会的・心理的評価 e 栄養評価</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/10/13 (木) 2時限 10:00~10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (病態および診察、検査、診断 : 有床義歯補綴学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ : 歯列欠損患者・無歯顎患者に対する診察・検査と評価2 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施するために、必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する補綴装置の評価について説明できる。</li> <li>3. 補綴装置の要件 (生物学的、機能的、形態的、力学的、審美的、材料的) について説明できる。</li> <li>4. 有床義歯における咬合力の支持様式について説明できる。</li> <li>5. 有床義歯における咬合様式について説明できる。</li> <li>6. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する研究用模型による検査について説明できる。</li> <li>7. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する口腔衛生状態の評価について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目 : 参考図書 (無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認</li> <li>・準備学修時間 : 60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 f 補綴装置の評価</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 g 研究用模型による検査 h 口腔衛生状態の評価 i その他</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/10/13 (木) 3時限 11:00~11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (病態および診察、検査、診断 : 有床義歯補綴学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ : 有床義歯補綴における診断・治療計画・設計 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施するために、</p>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	診察、検査、診断：有床義歯補綴学)	<p>必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者における診断について説明できる。  3. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者における治療の到達目標について説明できる。  4. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者における治療計画の立案について説明できる。  5. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者における治療法の選択について説明できる。  6. 有床義歯の設計原則について説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認  ・準備学修時間：60分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  なし  配付資料および参考図書</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  2 診察、検査、診断  ウ 診断</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  2 診察、検査、診断  エ 治療計画の立案  4 部分床義歯による治療  ア 義歯の設計  a 設計の原則  5 全部床義歯による治療  ア 義歯の設計  a 設計の原則</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/10/13 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（部分床義歯による治療）	<p><b>【授業の一般目標】</b>  テーマ：部分床義歯による治療1（義歯の設計・構成要素：ノンメタルクラスプデンチャーを含む）  部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の設計および構成要素について理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 部分床義歯の設計原則について説明できる。  3. 部分床義歯の構成要素について説明できる。  4. ノンメタルクラスプデンチャーについて説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認  ・準備学修時間：60分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  無し  配付資料および参考図書</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  4 部分床義歯による治療  ア 義歯の設計  a 設計の原則</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  4 部分床義歯による治療  ア 義歯の設計  b 義歯の構成要素</p>	*伊藤 誠康
2022/10/13 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（部分床義歯による治療）	<p><b>【授業の一般目標】</b>  テーマ：部分床義歯による治療2（臨床操作：前処置～印象採得、技工操作：個人トレーおよび作業用模型の製作）  部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の治療ステップについて理解する。</p>	*伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/13 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (部分床義歯による治療)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 部分床義歯の前処置について説明できる。</li> <li>3. 部分床義歯の個人トレーの製作について説明できる。</li> <li>4. 部分床義歯の印象採得について説明できる。</li> <li>5. 部分床義歯の作業用模型の製作について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：参考図書 (歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認</li> <li>・準備学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 a 個人トレーの製作、作業用模型の製作</p>	*伊藤 誠康
2022/10/14 (金) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (部分床義歯による治療)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ：部分床義歯による治療3 (臨床操作：フレームワーク試適・顎間関係の記録、技工操作：フレームワークの製作～咬合器装着) 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の治療ステップについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 部分床義歯のフレームワークの製作について説明できる。</li> <li>3. 部分床義歯の顎間関係の記録について説明できる。</li> <li>4. 部分床義歯のフレームワークの試適について説明できる。</li> <li>5. 部分床義歯の咬合器装着・調節について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：参考図書 (歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認</li> <li>・準備学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d 試適 (ろう義歯、フレームワーク) b 咬合器装着・調節 e 人工歯の選択・排列・歯肉形成 c サペイング、設計線の記入 d 支台装置、連結子、フレームワークの製作</p>	*大久保 昌和
2022/10/14 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (部分床義歯による治療)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ：部分床義歯による治療4 (臨床操作：ろう義歯試適～装着、技工操作：人工歯排列～咬合調整) 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の治療ステップについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> </ol>	*大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/14 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (部分床義歯による治療)	<p>2. 部分床義歯の人工歯の選択・排列・歯肉形成について説明できる。 3. 部分床義歯のろう義歯の試適について説明できる。 4. 部分床義歯の埋没、重合について説明できる。 5. 部分床義歯の咬合調整(削合)について説明できる。 6. 部分床義歯の装着について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書 (歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d 試適 (ろう義歯、フレームワーク) e 人工歯の選択・排列・歯肉形成 f 埋没、重合 g 咬合調整 (削合) と仕上げ</p>	*大久保 昌和
2022/10/14 (金) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (指導と管理：部分床義歯)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯装着後の指導と管理 (リコールとメンテナンス、破損等への対応) 部分歯列欠損患者に対する補綴歯科治療後の指導と管理について必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯装着後の義歯の清掃・管理について説明できる。 3. 部分床義歯装着後の支台歯の清掃・管理について説明できる。 4. 部分床義歯装着後の睡眠中の管理について説明できる。 5. 部分床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。 6. 部分床義歯に対するリベース、リラインについて説明できる。 7. 部分床義歯装着後の咬合の変化への対応について説明できる。 8. 部分床義歯の破損に対する対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書 (歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導 a セルフケア (ホームケア)、プロフェッショナルケア b 残存組織の変化とその対応 c 咬合の変化とその対応</p>	*小出 恭代
2022/10/14 (金) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (特殊な義歯の設計：有床義歯補綴学)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：特殊な義歯の設計 (オーバーデンチャー・アタッチメント) 部分歯列欠損患者に対する特殊な義歯の設計 (オーバーデンチャー・アタッチメント) とその治療について必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p>	*小出 恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/14 (金) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (特殊な義歯の設計: 有床義歯補綴学)	<p>2. 特殊な義歯の構成要素 (アタッチメント) について説明できる。</p> <p>3. オーバーデンチャーやアタッチメントを応用した義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>4. オーバーデンチャーやアタッチメントを応用した義歯の治療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目: 参考図書 (歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認</li> <li>・準備学修時間: 60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 b 義歯の構成要素 6 インプラント義歯による治療 エ 上部構造の製作 c インプラントオーバーデンチャーの製作 d インプラントパーシャルデンチャーの製作</p>	*小出 恭代
2022/10/14 (金) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (特殊な装置による治療: 有床義歯補綴学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ: 特殊な装置による治療 (顎顔面補綴装置、舌接触補助床、軟口蓋挙上装置、スピーチエイド)</p> <p>顎顔面欠損・機能障害等に対する特殊な補綴装置による設計・治療の方針について必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。</li> <li>3. 顎顔面に欠損を有する患者の病因および病態を説明できる。</li> <li>4. 顎顔面補綴装置による治療について説明できる。</li> <li>5. 栓塞子 (オブチュレータ) について説明できる。</li> <li>6. 舌接触補助床について説明できる。</li> <li>7. 舌接触補助床の製作法について説明できる。</li> <li>8. 軟口蓋挙上装置およびスピーチエイドについて説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目: 参考図書 (無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、有床義歯補綴学など) の確認</li> <li>・準備学修時間: 60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置</p>	*小出 恭代
2022/10/15 (土) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ: 全部床義歯による治療 1 (義歯の設計、臨床操作: 前処置～印象採得、技工操作: 個人トレーの製作～作業用模型の製作)</p> <p>無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施するために必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 全部床義歯の設計原則を説明できる。</li> <li>3. 無歯顎患者の前処置について説明できる。</li> <li>4. 全部床義歯の個人トレーの製作について説明できる。</li> <li>5. 全部床義歯の印象採得について説明できる。</li> <li>6. 全部床義歯の作業用模型の製作について説明できる。</li> </ol>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/15 (土) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯による治療）	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認</li> <li>・準備学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/10/15 (土) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯による治療）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ：全部床義歯による治療2（臨床操作：顎間関係の記録） 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施するために必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 全部床義歯の顎間関係の記録について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認</li> <li>・準備学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 咬合器装着・調節</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/10/15 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯による治療）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ：全部床義歯による治療3（臨床操作：人工歯選択、技工操作：咬合器装着） 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施するために必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 全部床義歯製作時の咬合器装着・調節について説明できる。</li> <li>3. 全部床義歯の人工歯選択について説明できる。</li> <li>4. フレンジテクニックについて説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認</li> <li>・準備学修時間：60分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/15 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 咬合器装着・調節  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録	*五十嵐 憲太郎
2022/10/17 (月) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯による治療4 (臨床操作：ろう義歯の試適、技工操作：人工歯排列・歯肉形成) 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の人工歯排列について説明できる。 3. 全部床義歯の歯肉形成について説明できる。 4. 全部床義歯の咬合様式を説明できる。 5. 全部床義歯のろう義歯の試適について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書 (無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認  ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 人工歯の選択・排列・歯肉形成  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 d ろう義歯の試適	*鈴木 亜沙子
2022/10/17 (月) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯による治療 (臨床操作：装着、技工操作：埋没、重合、咬合調整と仕上げ) 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の埋没、重合について説明できる。 3. 全部床義歯の咬合調整について説明できる。 4. 全部床義歯の装着について説明できる。 5. 全部床義歯の咬合器再装着について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書 (無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認  ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着  【国家試験出題基準 (副)】	*鈴木 亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/17 (月) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯による治療)	歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 b 咬合器装着・調節 d 埋没、重合 e 咬合調整 (削合) と仕上げ	*鈴木 亜沙子
2022/10/17 (月) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (指導と管理 : 全部床義歯)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯装着後の指導と管理 (リコールとメンテナンス、破損等への対応) 無歯顎患者に対する補綴歯科治療後の指導と管理について必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯装着後の義歯の清掃・管理について説明できる。 3. 全部床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。 4. 全部床義歯に対するリベース、リラインについて説明できる。 5. 全部床義歯装着後の咬合の変化への対応について説明できる。 6. 全部床義歯の破損に対する対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書 (無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など) の確認 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス b 残存組織の変化とその対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導 a セルフケア (ホームケア)、プロフェッショナルケア c 咬合の変化とその対応 d 機能低下とその対応 e 補綴装置の破損とその対応</p>	*鈴木 亜沙子
2022/10/17 (月) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (指導と管理 : 有床義歯補綴学)	<p>【授業の一般目標】 テーマ：義歯装着後の指導と管理 (口腔機能向上に関する指導、栄養指導、治療効果の評価) 歯列欠損患者および無歯顎患者に対する補綴歯科治療後の適切な指導・管理を実施できるために必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 補綴歯科治療の効果の評価について説明できる。 3. 補綴装置装着後の口腔機能向上に関する指導について説明できる。 4. 口腔機能に応じた栄養指導について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書 (無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、有床義歯補綴学など) の確認 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 ウ 口腔機能向上に関する指導</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 エ 栄養指導 a 口腔機能に応じた栄養指導 d 機能低下とその対応</p>	*五十嵐 憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/17 (月) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (指導と管理 : 有床義歯補綴学)	カ 治療効果の評価	*五十嵐 憲太郎
2022/10/17 (月) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (有床義歯補綴学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>テーマ：補綴歯科治療と関連する高齢者の予防管理・歯科治療 高齢者における補綴歯科治療および口腔衛生管理・機能管理および栄養管理を実施するために必要な知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 歯の喪失予防のための口腔保健指導について説明できる。</li> <li>3. 高齢者への口腔衛生管理・口腔機能管理について説明できる。</li> <li>4. 高齢者への栄養管理について説明できる。</li> <li>5. 高齢者への歯の欠損への対応について説明できる。</li> <li>6. 高齢者の発音障害 (構音障害) に対する対応について説明できる。</li> <li>7. 高齢者の口腔機能の評価について説明できる。</li> <li>8. 口腔機能低下症の予防管理について説明できる。</li> <li>9. 口腔機能低下症への対応について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：参考図書 (無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、有床義歯補綴学、よくわかる高齢者歯科学など) の確認</li> <li>・準備学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し 配付資料および参考図書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 6 高齢者等に関連した歯科診療 カ 口腔機能低下症への対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 4 高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ウ 診断 エ 治療計画の策定 5 高齢者等に関連した予防と管理 ア 歯の喪失予防 a 口腔保健指導 b 口腔機能管理 c 栄養管理 d 口腔機能低下症の予防管理 6 高齢者等に関連した歯科診療 イ 歯の欠損への対応 オ 発音障害 (発話機能障害) への対応</p>	*五十嵐 憲太郎
2022/10/18 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 a 前処置</p>	*岩田 好弘
2022/10/18 (火) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウン)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。</p>	*内堀 聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	リッジ補綴学)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 支台歯形成の方法について説明できる。</li> <li>3. プロビジョナルレストレーションの製作方法と特徴を述べることができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版  事前学修時間：30分  事後学習項目：配布資料の復習  事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無  学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  3 クラウンブリッジによる治療  イ 臨床操作  b 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  3 クラウンブリッジによる治療  イ 臨床操作  e プロビジョナルレストレーション</p>	*内堀 聡史
2022/10/18 (火) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>印象材の種類と特徴を理解する。  印象用器材、印象法の種類と特徴について理解する。  歯肉圧排の目的と方法について理解する。  顎間関係の記録 (咬合採得) の意義について理解する。  咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。  咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 印象材の種類と特徴を説明できる。</li> <li>3. 印象用器材、印象法の種類と特徴を説明できる。</li> <li>4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。</li> <li>5. 顎間関係の記録 (咬合採得) の意義について理解する。</li> <li>6. 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。</li> <li>7. 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。  事前学習時間：30分  事後学習項目：配布資料の復習  事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無  学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  3 クラウンブリッジによる治療  イ 臨床操作  d 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論  各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  3 クラウンブリッジによる治療  イ 臨床操作  f 顎間関係の記録</p>	*飯田 崇
2022/10/18 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯冠補綴治療を行うために、ロストワックス法による技工操作とデジタルデンティストリーにおける治療方法について知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づいて以下の項目を教授する。</li> <li>2. ロストワックス法による技工操作について説明できる。</li> <li>3. デジタルデンティストリーの治療方法について述べるができる。</li> <li>4. 口腔内スキャナーのシステムについて説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版</p>	*内堀 聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/18 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学）	<p>事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作 c その他の方法による製作</p>	*内堀 聡史
2022/10/18 (火) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴装置の装着方法について説明できる。 3. 歯冠補綴治療の術後管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 h 口腔内試適</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 仮着 j 装着</p>	*内堀 聡史
2022/10/19 (水) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウン装着後の破損の原因を述べることができる。 3. 前装冠破損の原因を推測することができる。 4. 前装冠破損の修理方法について述べるができる。 5. 補綴物の破損に関する理工学的特性を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学・歯科理工学 事前学修時間：90分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p>	*岩田 好弘 岩崎 太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/19 (水) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応</p>	*岩田 好弘 岩崎 太郎
2022/10/19 (水) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅴ：高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療（クラウンブリッジ補綴学）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>高齢者歯科医療を円滑に行うために、施設や在宅における基本的歯科医療を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>老化の機序を説明できる。</li> <li>要介護高齢者の歯科治療を説明できる。</li> <li>在宅歯科医療を説明できる。</li> <li>高齢者歯科医療における多職種連携について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：施設や在宅における基本的歯科医療を理解する。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 9 在宅、病院、施設における歯科診療 イ 多職種協働</p>	*飯田 崇
2022/10/19 (水) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅴ：高齢者等に関連した歯科診療：摂食嚥下障害への対応（障害者歯科学）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>摂食嚥下機能検査に基づいたリハビリテーションの立案ができる</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>摂食嚥下機能の評価方法について説明できる</li> <li>治療的アプローチについて説明できる</li> <li>代償的アプローチについて説明できる</li> <li>環境改善アプローチについて説明できる</li> <li>心理的アプローチについて説明できる</li> <li>栄養療法について説明できる</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版の該当項目について熟読する。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 摂食嚥下障害への対応（摂食機能療法） ア 治療的アプローチ a 間接訓練</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅴ 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 摂食嚥下障害への対応（摂食機能療法） ア 治療的アプローチ b 直接訓練 イ 代償的アプローチ ウ 環境改善的アプローチ エ 心理的アプローチ オ 栄養療法 4 高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 イ 口腔機能の評価 a 口腔機能および摂食嚥下機能</p>	*林 佐智代
2022/10/20 (木) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（口腔インプラント補綴学）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p>	*玉木 大之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	ラント学)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する</li> <li>2. インプラント外科処置について説明できる。</li> <li>3. インプラント外科処置における合併症について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 事後学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 a インプラント体埋入手術 (一次手術)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 b 二次手術</p>	*玉木 大之
2022/10/20 (木) 2時限 10:00~10:50	各論IV：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「臨床経験に基づいて以下の項目を教授する。」</li> <li>2. インプラントの補綴術式を説明する。</li> <li>3. インプラント上部構造の種類・固定方法を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 過去の講義・実習時に配布した、該当範囲レジュメの通読 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：スライド、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 エ 上部構造の製作 b スクリュー固定式上部構造の製作</p>	*村上 洋
2022/10/20 (木) 3時限 11:00~11:50	各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。</li> <li>2. インプラント治療のメンテナンスについて説明できる。</li> <li>3. インプラント治療の合併症について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOs ・準備学修時間：15分 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス f インプラントのメンテナンス</p>	*北川 剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/20 (木) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応	*北川 剛至
2022/10/20 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学)	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2. インプラントの光学印象について説明できる。 3. CAD/CAMを用いたカスタムアバットメントについて説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOs ・準備学修時間：15 分 ・事後学修時間：30 分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ウ 臨床操作 c 印象採得  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 エ 上部構造の製作 a セメント固定式上部構造の製作	*北川 剛至 *村上 洋 *玉木 大之
2022/10/24 (月) 1時限 09:30～12:10	平常試験7	【授業の一般目標】 (領域B：臨床実地) ☆歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ☆高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療に関して学習効果を確認する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害について説明できる。 2. 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など 平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表を参照すること  ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし	*有川 量崇
2022/10/25 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 嚢胞性疾患の診断およびその治療法を述べることができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の嚢胞性疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】	*山本 泰 *村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/25 (火) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞	*山本 泰 *村岡 宏隆
2022/10/25 (火) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の炎症性疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 h 顎骨周囲軟組織の炎症	*山本 泰 *伊東 浩太郎
2022/10/25 (火) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎顔面領域に発生する損傷の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の外科的疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 d 上顎骨骨折	*山本 泰 *伊東 浩太郎
2022/10/25 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する良性腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の良性腫瘍について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患	*山本 泰 *平原 尚久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/25 (火) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍	*山本 泰 *平原 尚久
2022/10/25 (火) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する悪性腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の悪性腫瘍について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 口腔癌</p>	*金田 隆 *山本 泰
2022/10/26 (水) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 d 歯性上顎洞炎</p>	*宇都宮 忠彦 *山口 桜子
2022/10/26 (水) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。</p>	*宇都宮 忠彦 *山口 桜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/26 (水) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。</p> <p>10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 f 線維骨性病変</p>	*宇都宮 忠彦 *山口 桜子
2022/10/26 (水) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍</p>	*宇都宮 忠彦 *山口 桜子
2022/10/26 (水) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p>	*宇都宮 忠彦 *山口 桜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/26 (水) 4時限 13:00~13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 g 良性腫瘍</p>	*宇都宮 忠彦 *山口 桜子
2022/10/26 (水) 5時限 14:00~14:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 i 口腔扁平苔癬</p>	*宇都宮 忠彦 *山口 桜子
2022/10/27 (木) 1時限 09:00~09:50	顎・口腔領域の疾患 (歯科麻酔学)、 臨床実地問題対策。	<p>【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、歯科治療時および全身麻酔時の全身的偶発症とその対応について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身的偶発症、特にアレルギー関連のものについて説明することができる。 3. アレルギー検査について説明することができる。 4. アナフィラキシーショックとその対応について説明することができる。 5. 全身麻酔時に発症する偶発症とその対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」および「15. 歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/27 (木) 1時限 09:00～09:50	顎・口腔領域の疾患(歯科麻酔学)、臨床実地問題対策。	講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理	*下坂 典立
2022/10/27 (木) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科)	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間:30分 事後学修項目:口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:口腔外科の各論で配布した資料及び教科書 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞	*濱野 美緒 *末光 正昌
2022/10/27 (木) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科)	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間:30分 事後学修項目:口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体:口腔外科の各論で配布した資料及び教科書 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】	*濱野 美緒 *末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/27 (木) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 k 白板症	*濱野 美緒 *末光 正昌
2022/10/27 (木) 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<b>【授業の一般目標】</b> 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。  <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分  <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング：なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書  <b>【学修方略 (LS)】</b> 講義  <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 400教室  <b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療 g 良性腫瘍	*濱野 美緒 *末光 正昌
2022/10/27 (木) 5時限 14:00～14:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科)	<b>【授業の一般目標】</b> 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。  <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分  <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング：なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書  <b>【学修方略 (LS)】</b> 講義  <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 400教室  <b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍	*濱野 美緒 *末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/28 (金) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（病理学）	<p>【授業の一般目標】 正確な診断を行うために、非腫瘍性疾患の病理組織診断について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. *以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 嚢胞の病理組織診断と鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔粘膜疾患の病理組織診断と鑑別診断を行うことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 1) 嚢胞の分類 2) 口腔粘膜疾患の分類 準備学修時間：30分 事後学修項目： 1) 嚢胞の分類と病理組織学的特徴 2) 口腔粘膜疾患の病理組織学的特徴 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア、ライブ・オンデマンド配信システム</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯源性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 k 白板症</p>	*宇都宮 忠彦
2022/10/28 (金) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（病理学）	<p>【授業の一般目標】 正確な診断を行うために、腫瘍性疾患と腫瘍類似疾患の病理組織診断について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. *以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて教授されるものである。 2. 歯源性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 3. 非歯源性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 4. 唾液腺腫瘍の歯源性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 5. 腫瘍類似疾患の分類と病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 1) 歯源性腫瘍の分類 2) 非歯源性腫瘍の分類 3) 唾液腺腫瘍の分類 4) 腫瘍類似疾患の分類 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 歯源性腫瘍の病理学的特徴 2) 非歯源性腫瘍の病理学的特徴 3) 唾液腺腫瘍の病理学的特徴 4) 腫瘍類似疾患の病理学的特徴 準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア、ライブ・オンデマンド配信システム</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 口腔癌</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯源性良性腫瘍</p>	*宇都宮 忠彦
2022/10/28 (金)	各論Ⅲ 顎口腔領	【授業の一般目標】	*濱野 美緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 11:00～11:50	域の疾患（口腔外科）	<p>口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。  3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。  4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。  5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。  6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。  7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。  8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。  9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。  10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。  事前学修時間：30分  事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。  事後学修時間：60分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング：なし  学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患  3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療  ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療  c 関節突起骨折</p>	*濱野 美緒
2022/10/28（金） 4時限 13:00～13:50	各論Ⅲ：顎口腔領域の疾患（クラウンブリッジ補綴学・放射線）	<p><b>【授業の一般目標】</b>  顎関節症に対する診断および治療計画立案ができるようになるために、顎関節症の各病態に合わせた治療方針を理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 顎関節咬合科での臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。  2. 歯科疾患と顎関節疾患とを鑑別診断できる。  3. 顎関節症における画像診断結果を説明できる。  4. 顎関節症の病態分類について説明できる。  5. 各病態における特徴を説明できる。  6. 各病態に対する治療方針を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。  事前学習時間：30分  事後学習項目：配布資料の復習  事後学習時間：60分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング：なし  紙媒体による授業プリント</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患  3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療  ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療  1 顎関節症</p>	*飯田 崇 *村岡 宏隆
2022/10/28（金） 5時限 14:00～14:50	顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学）、臨床実地問題対策。	<p><b>【授業の一般目標】</b>  安全で適切な患者管理を行うために、歯科治療時および全身麻酔時の全身的偶発症とその対応について理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 生体管理モニタの波形を説明することができる。  3. 呼吸器疾患発症時のモニタの変化を説明することができる。  4. 循環器疾患発症時のモニタの変化を説明することができる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」および「15.歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。  ・事前学修時間：30分。  ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。  ・事後学修時間：60分。</p>	*竹森 真実

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/28 (金) 5時限 14:00～14:50	顎・口腔領域の疾患(歯科麻酔学)、臨床実地問題対策。	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング：無し。</li> <li>・学修媒体：配付資料。</li> </ul> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理</p>	*竹森 真実
2022/10/29 (土) 1時限 09:00～09:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科・病理学)	<p>【授業の一般目標】 各論・臨床実地で学修した内容を再確認することにより知識を統合する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を説明できる。 3. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を説明できる。 4. 口腔領域に発生する粘膜疾患の診断およびその治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔外科および病理学の各論、臨床実地で学修した講義内容を復習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 j 口腔潜在的悪性疾患</p>	*山本 泰 *末光 正昌
2022/10/29 (土) 2時限 10:00～10:50	各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科・病理学)	<p>【授業の一般目標】 各論・臨床実地で学修した内容を再確認することにより知識を統合する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を説明できる。 3. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を説明できる。 4. 口腔領域に発生する粘膜疾患の診断およびその治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔外科および病理学の各論、臨床実地で学修した講義内容を復習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 i 口腔扁平苔癬</p>	*山本 泰 *末光 正昌
2022/10/29 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患(歯科麻酔学)	<p>【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、歯科治療時および全身麻酔時の全身的偶発症とその対応について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔時に発症する偶発症とその対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」および「15.歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p>	*鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2022/10/29 (土) 3時限 11:00～11:50	各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学）	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブラーニング：無し。</li> <li>・学修媒体：配付資料。</li> </ul> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 a 血管迷走神経反射</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 b 過換気症候群 c 局所麻酔薬中毒 d アナフィラキシー {ショック} e 血管収縮薬による反応</p>	*鈴木 正敏
2022/11/02 (水) 1時限 09:30～11:35	平常試験8	<p>【授業の一般目標】</p> <p>〈領域B：臨床実地〉 ☆顎・口腔領域の疾患 ☆高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療に関する事項の学習効果を確認する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎・口腔領域の疾患を説明できる。</li> <li>2. 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療について説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など</li> </ul> <p>平常試験における出題数の内訳は試験日程，領域別出題数表を参照すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>その他 該当なし</p>	*有川 量崇